



+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

第57回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会



THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION・KYOKUSHIN



+日本赤十字社
災害義援金チャリティー

第57回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会

主催/国際空手道連盟 極真会館 館長/松井章奎

協賛/KAATSU JAPAN(株) シダックス株式会社

後援/日本赤十字社 公益財団法人 全日本空手道連盟 スポーツ庁 メディアエイト ワールド空手

2025年12月27日(土)28日(日) 日本空手道会館

+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

第57回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会

THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

12/27 土

10:00	開会式
10:20	女子1回戦 (4試合)
	男子1回戦 (6試合)
11:10	女子2回戦 (8試合)
	男子2回戦 (32試合)
13:30	女子3回戦 (4試合)
	男子3回戦 (16試合)
14:40	初日試合終了

12/28 日

10:00	開会式
10:15	選手紹介
10:25	ルール説明
11:00	試割り(男子のみ) ①正拳 ②足刀 ③猿臂 ④手刀
11:40	男子4回戦 (8試合)
12:20	男子準々決勝戦 (4試合)
12:40	女子準決勝戦 (2試合)
12:50	男子準決勝戦 (2試合)
13:10	女子3位決定戦 (1試合)
13:15	男子3位決定戦 (1試合)
13:20	女子決勝戦 (1試合)
13:25	男子決勝戦 (1試合)
13:50	表彰式・閉会式
14:20	大会終了

※両日とも進行状況により時間が変動する場合があります。

試合時間

女子1~3回戦	①本戦 2分間	男子1~3回戦	①本戦 2分間
	②延長戦 2分間		②延長戦 2分間
	③体重判定(有効差5kg)		③体重判定(有効差10kg)
	④再延長戦2分間の順で勝敗を決する		④再延長戦2分間の順で勝敗を決する
女子準決勝戦以降	①本戦 3分間	男子4回戦以降	①本戦 3分間
	②延長戦 2分間		②延長戦 2分間
	③再延長戦2分間		③再延長戦2分間
	④試割の枚数(準決勝は手刀/決勝戦・3位決定戦は猿臂) 体重判定(有効差5kg)		④試割の合計枚数 体重判定(有効差10kg)
	⑤再々延長戦2分間の順で勝敗を決する		⑤再々延長戦2分間の順で勝敗を決する



国際空手道連盟 極真会館 館長

松井章全

この度、皆様方の温かい御支援を賜り、『日本赤十字社 災害義援金チャリティー 第57回オープントーナメント全日本空手道選手権大会』を、本日ここに開催出来ますことを心より御礼申し上げます。

私共国際空手道連盟 極真会館では、一昨年は創始者・大山倍達生誕100年と最大行事である4年に一度の全世界空手道選手権大会の開催、昨年は大山倍達没後30年と国際空手道連盟 極真会館創立60周年的節目の年に当たり、2025年は極真会館にとって次の70周年、その延長線上にある100周年に向けたリスタートの年であり、その第一歩とも言える4月の「第7回全世界体重別空手道選手権大会」を無事成功裏に終えることが出来ました。この大会では男子4階級・女子3階級の全7階級で争われ、ロシアが4階級、日本が3階級で優勝するという結果とは別に、世界各国各地域から出場したIKO.全体会の選手の成長を実感でき、2年後の2027年に行われる体重無差別の第14回全世界選手権大会に向けた試金石になる大会だったと言えます。

そして8月には新たに国際空手道連盟に賛助会員として加盟した全日本真正空手道連盟 真正会との共同主催で2年ぶりに全日本体重別空手道選手権大会を、従来行ってきた全日本ウェイト制大会を兼ねる形で開催しました。ここでも新人選手の台頭やベテラン勢の活躍が見受けられ、選手達にとって今回の全日本大会に向けて弾みをつける良い機会になったと思います。来年からは真正会と大会やイベントのスケジュールを調整し、より密接に交流を深めていく中で全日本体重別、全日本無差別の選手権大会はもとより、従来の国際親善大会や極真祭などの各行事をさらに充実させていく予定ですので、ぜひ期待していただき

◎大会ごあいさつ

日本赤十字社 災害義援金チャリティー

第57回オープントーナメント全日本空手道選手権大会

たいと思います。

さて、本日開催される全日本空手道選手権大会は、1969年に第1回大会が行われ、直接打撃制ルールの競技会としては最も歴史が古く、伝統と権威のある大会となっております。第57回となる本大会には全国で選抜された組手競技の選手をはじめ海外からの招待選手など男子70名・女子20名の合計90名が出席し、2日間にわたって体重無差別で直接打撃制空手の『日本一』を競います。

男子では前回大会で優勝して4月の世界体重別大会でも重量級で優勝を遂げたコバレンコ・コンスタンティン選手と世界体重別大会でコバレンコ選手と決勝を争った西村界人選手が軸となってトーナメントが展開されていくと予想されます。また女子でも前回大会ベスト4の宮本神選手と小城みなみ選手の2名が優勝候補の筆頭格と言えるでしょう。一方、男女ともに10代後半から20代前半の新鋭達が加速度的に成長を遂げ、ベテラン勢やこれまで中堅クラスに甘んじていた選手達も虎視眈々と王座を狙っている状況です。また、来年の第58回全日本大会は、2027年の第14回世界大会の日本代表選手選抜大会となりますから、今大会では各選手が1年後あるいは2年後に向かた確かな一步を示すべく大いに発奮し、さらに進化した「心・技・体」を体现してくれるものと確信しております。

国際空手道連盟 極真会館は、師・大山倍達が自らの修行の中で生み出した『実践なんば証明されず、証明なんば信用されず、信用なんば尊敬されない』『力なき正義は無能なり、正義なき力は暴力なり』という独自の理念をもとに1964年に設立され、ちょうど10年前2015年に本大会の会場である日本空手道会館を本部として活動する公益財団法人 全日本空手道連盟との友好化を実現し、積極的に交流する機会を持ちながら空手界の大同団結や社会的地位向上を目指して活動していく中で、2016年からは組手競技のルール改定に着手し、師が、『素手素足』『体重無差別』『直接打撃』の3原則をもって創り上げた直接打撃制ルールにおける草創期の『実戦性』に回帰するとともに社会体育としての『安全性』を十分に確保しながら『競技性』を高め、武術本来の技の習得や向上を目標に掲げてきました。以来、このルールは新たに『IKO.極真ルール』という名称に定め、二度の無差別世界大会を挟んで約10年が経過する中で年々微調整を重ねながら進化発展し、国際的にも広く普及・浸透していくことで、今大会でもさらに精度を増した攻防が見られるものと期待を寄せてています。

その一方で、極真会館が『競技団体』ではなく『武道団体』であるとすれば、極真会館においての競技会・大会というのは、一つの修行の場でなければなりません。『実践なんば証明されず、証明なんば信

用されず、信用なんば尊敬されない』という実践主義における実戦空手としての『実戦性』が示されること。師が『地に沿った基本、理に適った型、華麗なる組手』『品格のある空手』『理念のある空手が極真空手である』と常々教示されたように、美しい技の競い合いがなされる『競技性』が示されること。そして試合である以上は、『安全性』が担保されていること。またそこに極真精神を象徴する『武道性』が顕れる大会でなければならないということです。

また、私達は、師から極真は『勝負偏重主義』であると教示されてきました。これは決して『勝利至上主義』ではなく、『勝』『負』のそれぞれを同様に重んじ受け止めるという精神です。試合には必ず勝者・敗者が生まれますが、『勝って驕らず、負けて挫けず』の精神を以て、各々がそこで得た結果を受け入れ、学んだことを明日からの稽古に活かし、さらなる成長を目指すということですので、選手の皆さんにはぜひこの主旨を心に刻み、正々堂々と本日の試合に臨んでいただきたいと思います。

国際空手道連盟 極真会館は、師が教示した空手道の『真を極める』という志をその団体名とし、『頭は低く、目は高く、口を慎んで心広く、孝を原点として他を益する』という極真の理念に基づいて1964年に創設された武道団体です。日々稽古に精進する中で『最強』『一撃必殺』といった武術の理想を追求すると共に、2011年『極真会館・命知元年』で示した『世界平和を目指し、武道空手道の普及による社会体育活動を通じて、社会に有用たる人材の育成に努める』という団体活動目的と『最強求道の志・相互互恵の志・永続繁栄の志』という3つの団体活動指針を基盤としています。日本の優れた伝統文化である武道精神と空手道の普及によって健全な青少年、健全な若者の育成と人格の陶冶を目指し、シニア世代の健康増進や社会福祉、国際交流など、『武道を通じて社会に貢献する』『武道を通じて世界平和に寄与する』という信念の下、今後も様々な活動に邁進していく所存です。

尚、極真会館では2011年3月の東日本大震災以降、国内の全ての大会や行事を災害義援金チャリティーとして開催しております。被災された各地の一日も早い復興を願い、今後も継続的にチャリティー活動を行ってまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、改めて本大会開催にあたり多大なる御支援を賜りました御賛賛各社様、快く会場の使用許可を下さった公益財団法人 全日本空手道連盟様はじめ御後援いただいた各団体・各社様、その他御協力、御尽力を賜りました多くの皆様方に敬意を表し、衷心より感謝を申し上げ、私の挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

GREETINGS

Officials

大会役員



大会実行委員長
松井 章奎
極真会館 館長
Championship Chairman
Matsui Shokei
President of the
I.K.O. Kyokushinkaikan



大会審議委員長
郷田 勇三
極真会館 最高顧問
Championship Committee Chairman
Goda Yuzo
I.K.O. Executive Advisor



大会審議委員会相談役
待田京介
極真会館 特別相談役
Championship Committee Advisor
Machida Kyosuke
I.K.O. Special Advisor



大会審判長
磯部 清次
極真会館 國際委員会委員
Championship Supreme Judge
Isobe Seiji
I.K.O. International Committee Member



大会副審判長
ケニー・ウーテンボガート
極真会館 國際委員会委員
Championship Executive Judge
Kenny Uytengbogaardt
I.K.O. International Committee Member



大会副審判長
山田 雅稔
極真会館 副審判委員長
Championship Executive Judge
Yamada Masatoshi
I.K.O. Officiating Committee Vice Chairman



大会審議委員
河岡 博實
極真会館 審判委員会委員
Kawaoka Hiromi
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
五来 克仁
極真会館 國際委員会委員
Gorai Katsuhiro
I.K.O. International Committee Member



大会審議委員
川畑 幸一
極真会館 審判委員会委員
Kawabata Kouichi
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
スチュアート・コリガル
極真会館 審判委員会委員
Stuart Corrigal
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
浜井 良顕
極真会館 審判委員会委員
Hamai Yoshiaki
I.K.O. Officiating Committee Member



大会実行副委員長
福田 勇
極真会館 総本部師範
Fukuda Isamu
I.K.O. Honbu Shihan



大会実行副委員長
八巻建志
極真会館 総本部師範
Yamaki Kenji
I.K.O. Honbu Shihan

大会名誉顧問

菅 義偉 (衆議院議員)
小沢一郎 (衆議院議員)
亀井静香 (元衆議院議員)
佐藤義昭 (加圧トレーニング®発明者)
佐藤可士和 (クリエイティブディレクター)

大会特別顧問

澤井明彦 (株式会社サン・ラック代表取締役社長)
志太勤一 (シダックス株式会社代表取締役会長兼社長)

大会相談役

泉 和彦 (団体代表役員)
伊東信久 (衆議院議員、医師)
大下英治 (作家)
川島智太郎 (元衆議院議員)
行田邦子 (埼玉県行田市長)
藤巻 潤 (俳優)
山口 拓 (東京都議会議員)
(※五十音順)

大会評議委員会

杉村福次郎
極真会館 医事委員会

大会運営委員会

杉村多一郎 (運営委員長)
青木英憲
今西登之彥
江口芳治
柿沼英明
鴨志田裕寿
川本英児
菅野秀行
毛塙慎一
佐々木敏也
鈴木由一
田口恭一
立川善久
根本清志
羽田シゲル
ホスロ・ヤグビ
(※五十音順)



◎今大会の見どころ

第57回 オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

来年の第58回全日本大会＝日本代表選抜大会、
2年後の第14回世界大会を見据えた分岐点となる大会

現トップ選手が意地を見せるか、 急成長を遂げる新世代の台頭か

国際空手道連盟 総本部 極真会館が主催し、直接打撃制ルールで争われる『オープントーナメント全日本空手道選手権大会』。57回目を迎える今大会は、2015年に友好団体となった公益財団法人 全日本空手道連盟の施設である日本空手道会館にて開催される。直接打撃制の公式大会がこの会場で開かれるのは初めてで、多くの団体が乱立する空手界にあって「空手道は一つ」であることを内外に示す画期的なイベントと言える。

さて、1969年に第1回大会が開催されて以降、半世紀以上にわたって数多くのドラマが紡がれてきたこの大会に、今年は男子70名、女子20名、合計90名が出席する。4年毎に行われる無差別世界大会を軸に考えれば、2年前の2023年に第13回大会を終え、2年後の2027年に第14回大会を迎えることから、今回はちょうど真ん中の分岐点となる大会である。

また、今年は4月に全世界体重別大会が行われ、その結果によって現時点の世界的な勢力図や選手たちのレベルが明らかになった。一方で世界体重別大会を機に現役を引退した選手もいれば、上位に入賞した複数の日本代表選手が8月の全日本体重別大会を回避したこともあるて先の全日本体重別大会では多くの新鋭たちが優勝あるいは入賞の実績を上げて台頭してきた。つまり、今回の全日本大会では、トップ勢と新たな力がぶつかり合う場面がいたるところで見られることになる。それをあえて言葉にするならば、「下剋上」「世代交代」といったことがテーマであると言える。加えて、全日本のタイトルを狙う強豪外国人選手の存在がトーナメントをより複雑化し、ドラマチックな展開に押し上げている。

それでは男子の注目選手から各ブロック毎に見ていこう。

■男子Aブロック

やはり軸になるのは第53&54回全日本大会優勝者で3度目の王座獲得に自信を覗かせる西村界人(No.1=ゼッケン番号)だ。2回戦で対戦が予想されるペリフ・ミハイル(No.2)は今年ヨーロッパ体重別-90kg級3位の強豪。3回戦は高木信(No.5)との対戦が考えられるが、高木は10月の全関東大会-80kg級で優勝し、11月は真正会全日本+75kg級で準優勝と、この全日本大会に照準を合わせて実績を積み重ねている。高木にとっては大型の西村を相手にどこまで揺さぶりをかけられるかが勝負の鍵になる。

次の3回戦は全関東大会+80kg級優勝者の岩田大(No.6)と、2回戦のユラソフ・エフゲニー(No.8)と佐藤拓海(No.9)の勝者が当たる。ユラソフは全ロシア体重別+90kg級で準優勝した大型ファイターで、約20kgの体格差がある佐藤にとっては試練の戦いになる。

ブロック後半、高田悠一郎(No.10)は全日本体重別-80kg級の優勝者。3回戦で長澤大和(No.13)との一戦が濃厚だが、長澤も今年は東日本大会3位、全日本体重別+90kg級3位、真正会全日本+75kg級優勝と尻上がりに調子を上げている。そして注目されるのが木山獅勇(No.14)とグセイノフ・ラシャド(No.17)の3回戦。全日本体重別-90kg級3位の木山が、同じ階級の世界No.1であるグセイノフを相手にどんな試合をするのか!?

■男子Bブロック

ブロックのトップを谷川蒼哉(No.18)、ラストにエキモフ・マクシム(No.35)という昨年第56回大会ベスト8の両者が配され、それ以外にも全日本体重別で躍進した選手や一筋縄ではない外国人選手が顔を揃えている。まず岡部慎太郎(No.21)は8月の千葉県大会で第13回世

界大会から1年9カ月ぶりに復帰して優勝。対するビセル・ミカ(No.22)はニュージーランド大会の優勝者で無差別世界大会と世界体重別大会は共にI.K.O.ニュージーランド代表として出場経験がある。このどちらかと谷川の対戦が予想され、体重70kg台の谷川にあっては早くも階級を超えた戦いが始まる。

続くペロフ・マクシム(No.24)は3月に行われたロシア無差別大会4位。3回戦では全日本体重別-90kg級準優勝の秋山大知(No.26)と対戦する可能性が高く、秋山が超大型選手を相手に無差別の世界大会を見据えた組手ができれば勝機が見えてくる。

ブロック後半は4回戦で全日本体重別+90kg級優勝者の西村大河(No.27)とエキモフがベスト8を懸けて戦うことになりそうだ。エキモフに過去2敗している西村は、是が非でも勝利を挙げて自身の成長を示したい。

■男子Cブロック

昨年の第56回全日本大会で4位に入賞したゴリウシキン・ダニル(No.36)と、世界体重別-80kg級で優勝した大秦稟司(No.52)がブロックの両端を固める。ゴリウシキンと大秦は昨年の大会で対戦し、延長までもつれる接戦の中でゴリウシキンが下段突きを決めて技有りを奪い優勢勝ち。大秦はベスト8進出を阻まれる悔しい敗戦を喫し、今回は何としても雪辱を期したいところだが、そこに辿り着くまで両者共にいくつも山を越えなければいけない。

まずゴリウシキンは全日本体重別-90kg級4位の兼久啓太朗(No.39)との3回戦が最初の山になりそうだ。兼久は相手と同じ土俵で戦わわない戦術に長け、一打で逆転可能な上段蹴りも持っている。次の4回戦は田水春樹(No.43)とゴリウシキンの対戦が濃厚。パワー主体の田水に



とて、自分より体格・体力で優る相手との試合は自分がこれまで培ってきた技術力や緻密な戦略が試される。

ブロック後半、世界体重別-90kg級で準優勝し、改めて上段前蹴りの命中率の高さを示した山上大輝(No.46)は、4回戦の大秦との試合が大きな山になる。一つ参考になるのは、山上が大秦の兄・零司に過去2勝していること。山上は大秦の組手に苦手意識はなく、逆に大秦の方に対策や研究が迫られる。組手スタイルの全く違う者同士の試合がどう嘴み合いを見せるのか、興味深い一戦になりそうだ。

他にアフメドフ・ムラド(No.47)は昨年国際親善大会ユースの部で任梓豪と試合をして3位に入賞、シピエン・ツェザリ(No.49)はヨーロッパ体重別-80kg 3位、どちらも長身で18歳と若く、将来が楽しみな新人だ。

■男子Dブロック

最終ブロックは、前半に世界体重別-80kg級準優勝の飯塚翼(No.53)と全ロシア体重別-90kg級&全ロシア無差別大会で優勝したフェドシーフ・アレクセイ(No.61)、後半に今年49歳になる歴戦の雄ナヴァアロ・アレハンドロ(No.62)、最後尾に昨年第56回大会優勝者で世界体重別+90kg級を制して二冠となったコバレンコ・コンスタンティン(No.70)が陣取る。

前半、橋田陽彦(No.56)や長澤龍馬(No.58)といった若手にも期待がかかるが、4回戦は飯塚とフェドシーフの一戦となる可能性が高い。パワーだけでなく技術力にも秀でた万能型のフェドシーフに対し、飯塚がどんな戦術で対抗するのか、想像しただけでもワクワクする。

後半はベテランのナヴァアロに若い穂山和斗(No.65)らがどう挑むのか。またアルテメフ・アスカ(No.66)は世界体重別後に-80kg級に

上げて、10月の全ロシア体重別大会で3位に入賞。尊敬する先輩でもあるコバレンコとの試合を視野に入れている。

■女子ABブロック

Aブロック先頭は4月の世界体重別大会で日本選手唯一の優勝者となった小城みなみ(No.101)。2回戦で対戦が予想される櫻田まどか(No.103)とは昨年も対戦して技有り優勢勝ちで退けていたが、櫻田は今年の全日本体重別-55kg級で初めて3位に入賞して自信を深め、小城へのリベンジを誓っている。

続いて全日本体重別-60kg級で優勝した今井彩弥(No.104)と世界体重別-55kg級準優勝の鈴木千凌(No.105)が初戦で顔を合わせる。その勝者が小城に挑むことになるが、鈴木であれば同じ上段前蹴りを得意にするタイプだけに、呼吸やタイミングも含めどちらの技が優れているのかが勝負になる。

Bブロックは全ロシア体重別+65kg級優勝者カルポワ・エカテリーナ(No.110)の存在感が際立つ。3回戦で藤本美桜(No.106)が全日本体重別で2つの技有りを取った上段蹴りを183cmの長身に決めることができれば番狂わせの可能性も広がる。

小城とカルポワの準決勝となれば、これは第13回世界大会の再戦。前の試合ではカルポワのパワーと圧力に小城が圧倒されての敗戦だったが、世界体重別大会で以前の非力なイメージを払拭した小城が、相手の猛攻をどう凌いでいくのか、そして上段前蹴りを決めるワンチャンスを活かせるかどうかが勝負の分かれ目になる。

■女子CDブロック

Cブロックは世界体重別-65kg級準優勝の知念琉花(No.111)が有力で、実績的に对抗馬にな

るであろう全日本体重別-55kg級優勝者の森岡優海(No.115)は2回戦で体重差のある今井佑奈(No.114)と対戦。十分な無差別対策を積んで今大会に臨むという森岡の戦いぶりに注目したい。

Dブロックは全日本体重別+65kg級決勝を戦った岡田冴月(No.116)と宮本神(No.120)が早くも3回戦で激突することが予想される。これまで宮本に2連敗を喫している岡田は、何としても雪辱したいところだが、大会ごとに穴のない組手に進化を見せている宮本に果たして付け入る隙はあるのか?

そして準決勝は、知念と宮本の一騎打ちとなる公算が高い。両者は4年前の全関東大会決勝で対戦し、知念が延長で判定勝ち。現在は順位は逆転した形だが、実力的にそれほど大きな差があるようには見えず、勝負のポイントは最後まで諦めない、絶対に勝ちたいという精神面が大きく左右すると思われる。

男子は下馬評通り進めば西村界人とコバレンコという2人の全日本優勝経験者の決勝対決という構図になるが、誰がそれを阻止して次代のエースに名乗りを上げるか、それとも両チャンピオンが圧倒的な実力差を見せつけるのか。女子は本命視される小城みなみ、カルポワ、知念琉花、宮本神の4人の牙城を誰が崩すのか、あるいはこの4人のうちの誰が抜け出して頂点に立つかが今大会の大きな見所になる。

次の世界大会を見据えた場合、選手にとっては今大会の結果や試合内容が、その後の2年間を決定づけると言っても過言ではない。今大会の先に来年の第58回全日本大会=日本代表選抜大会があり、そのラインは第14回世界大会まで一直線に繋がっている。

選手たちには極真空手の新たな潮流を生み出すような大いなる活躍に期待したい――。

男子Aブロック/No.1 NISHIMURA KAITO

西村界人

目指すは宿敵コバレンコへの雪辱と
3度目の全日本チャンピオンの称号



にしむら・かいと

東京城北支部 参段

188cm / 110kg / 31歳

◎主な戦績

2019オールアメリカンオープン3位
2020第52回全日本大会2位
2022第53回全日本大会優勝
2022第54回全日本大会優勝
2023第13回世界大会2位
2025第7回世界体重別+90kg級2位



4月に開催された第7回世界体重別大会において1年5ヶ月ぶりに復帰した西村界人だったが、+90kg級決勝戦でコバレンコ・コンスタンティンに敗れ惜しくも準優勝。終始、大胆さと繊細を兼ね備えた組手を披露したが、最終的な敗因はブランクによる“勝負の際”的見極めだったと言えるかもしれない。厳しい現実を突きつけられたが、当の本人に復帰後すぐに結果が出るといった甘い考えはなかった。だから顔を上げ、再び奮い立つ。大型の外国人選手を相手にしても圧力負けしないパワーと鋼のような精神はいまだ健在。あとは相手との駆け引きや調和を自分の組手に落とし込めば誰よりも高い場所に行けるはず。そう信じて一日24時間空手と向き合い、日々修行に明け暮れてきた。目指すは、過去1勝2敗の宿敵コバレンコへの雪辱。それが達成できたとき、西村は3度目の全日本チャンピオンの称号を手に入れることができる。

男子Dブロック/No.70 KOVALENKO KONSTANTIN

コバレンコ・コンスタンティン

全日本王者にして世界体重別+90kg級優勝者
第14回世界大会まで一つも負けは許されない



総本部道場 参段

182cm / 95kg / 30歳

◎主な戦績

2016第48回全日本大会6位
2017ヨーロッパオープン優勝
2019第12回世界大会5位・技能賞
2020第52回全日本大会優勝
2022第53回全日本大会4位
2022全日本体重別+90kg級優勝
2022第54回全日本大会2位
2023第13回世界大会6位
2024第56回全日本大会優勝
2025第7回世界体重別+90kg級優勝



今大会の優勝候補最有力といえば、コバレンコ・コンスタンティンの右に出る者はいないだろう。昨年の第56回全日本大会で2度目の優勝を果たすと、4月の第7回世界体重別大会では全ロシア体重別大会+90kg級優勝者ルジン・アンドレイや無差別世界大会準優勝の西村界人を退け体重別ながら世界一の座を獲得した。しかし、これで満足するコバレンコではなかった。「優勝はその日だけのこと。翌日から世界中の選手たちが2年後の世界大会を目指している」と、すぐに稽古を再開。得意の足掛け・足払いにさらに磨きを掛け、上段への蹴り技や回転系の蹴り技の精度を高めて組手の幅を広げた。今大会は連覇が懸かる大事な大会だが、第13回世界大会以降から着手してきた組手改革の成果を試す絶好の機会でもある。「2年後の第14回世界大会まで一つも負けは許されない」と決意を語るコバレンコの試合から目が離せない。

男子Aブロック/No.10 TAKATA YUICHIRO

高田悠一郎

膝蹴りとフィジカルが特徴的な新星
全日本体重別優勝に続き夢を現実に



たかた・ゆういちろう

東京城西支部、初段

171cm / 80kg / 22歳

◎主な戦績

2022全関東大会 - 80kg級4位

2023全関東大会 - 80kg級2位

2025岡山県大会優勝

2025全日本体重別 - 80kg級優勝

8月の全日本体重別大会 - 80kg級で初優勝を遂げた“東京城西支部の新たな星”高田悠一郎。膝蹴りを軸にしたバランスの良い攻撃に加え、フィジカルの強さ、そしてカウンターの妙技が光る。中量級の体格だけに無差別での課題はやはり重量級対策。いかにスピードある戦術で効果的な攻撃に繋ぐことができるかが勝負の鍵になる。全日本チャンピオンは故郷・愛媛で空手を始めた少年部時代からの憧れと語る高田。体重別に続きその夢を現実にする。

男子Aブロック/No.17 GUSEINOV RASHAD

グセイノフ・ラシャド

強豪I.K.O.ロシアの次世代エース候補
2度目の全日本で空手母国の大城を崩す



I.K.O.ロシア、初段

181cm / 93kg / 21歳

◎主な戦績

2023全ロシア体重別 - 90kg級優勝

2024第56回全日本大会5位

2025ロシアンカップ - 90kg級優勝

2025第7回世界体重別 - 90kg級優勝

強豪が揃う I.K.O. ロシアにあって、ルジン・アンドレイやエキモフ・マクシムらの次の世代のエース候補と言えるのが、4月の第7回世界体重別大会 - 90kg級で優勝を遂げたグセイノフ・ラシャドだ。グセイノフは19歳で出場した2023年全ロシア大会 - 90kg級で初優勝、昨年は第56回全日本大会に初出場して5位に入賞を遂げた。疲れもダメージも感じさせない強靭な肉体と常に前に出て攻撃を止めないアグレッシブな組手で空手母国の大城を崩す。

男子Bブロック/No.18 TANIGAWA SOYA

谷川蒼哉

大型外国人選手に技と闘志で立ち向かう
“柔よく剛を制する”空手で初優勝を狙う



たにがわ・そうや

総本部道場、初段

170cm / 73kg / 23歳

◎主な戦績

2021-2022真正会全日本中量級優勝

2024全日本体重別 - 80kg級2位

2024第56回全日本大会7位

2025第7回世界体重別 - 80kg級4位

魅せる空手家の定義は数あれど、大型外国人選手を相手に技と闘志で戦い“柔よく剛を制する”組手で会場を沸かせるのが、谷川蒼哉だ。第13回世界大会ではエキモフ・マクシムと、第56回全日本大会ではゴリウシキン・ダニルと、共に190cm、100kgを超える屈指の大型選手と互角の勝負を展開。無差別の全日本で7位に入賞した。今大会、勝ち上がれば準々決勝でエキモフとの再戦が予想される。ここを超えればベスト4、さらに決勝進出も見えてくる。

男子Bブロック/No.27 NISHIMURA TAIGA

西村大河

体重別+90kg級を制して才能が開花
日本のエースへ、覚悟の戦いが始まる



にしむら・たいが

東京城北支部、初段

183cm / 95kg / 22歳

◎主な戦績

2022全日本体重別 - 90kg級3位

2023全日本体重別 - 90kg級4位

2024全日本体重別 +90kg級3位

2025全日本体重別 +90kg級優勝

同門の先輩でもある西村界人の背中を追う、日本重量級“第2の男”。その視線は無差別全日本優勝、そして世界大会優勝へと向かっている。8月に行われた全日本体重別大会 +90kg級で悲願の初戴冠。以前から期待のホープとして注目されていたが、そのポテンシャルがこの体重別大会で一気に開花。攻防のバランスの良さに加え、アグレッシブさを手に入れ、心技体を兼ね備えた組手へ進化を遂げた。日本のエースとなるべく覚悟の戦いが始まる。

男子Bブロック/No.35 EKIMOV MAKSIM

エキモフ・マクシム

圧倒的なパワーと卓越した技を武器に一気に全日本の頂点に駆け上がるか!?



I.K.O.ロシア 武段
190cm / 105kg / 28歳
◎主な戦績
2023第13回世界大会7位
2024全ロシア大会+90kg級2位
2024第56回全日本大会3位
2025第7回世界体重別+90kg級3位

昨年の第56回全日本大会3位、今大会でも優勝争いに絡んでくることが予想されるエキモフ・マクシム。身長190cm、体重105kgの身体から発する爆発力と巧みな技術で、第13回世界大会7位、第7回世界体重別大会は+90kg級3位と安定した結果を残しているが、いまだ日本の大会で優勝の実績はない。以前敗れた優勝候補の西村界人、コバレンコ・コンスタンティンへのリベンジに成功したとき、エキモフの全日本初制覇の夢が達成される。

男子Cブロック/No.44 YAMAGAMI DAIKI

山上大輝

得意の上段前蹴りは一打必倒の衝撃真価を問われる全日本で結果を残す



やまがみ・だいき
東京城北支部、初段
182cm / 86kg / 23歳
◎主な戦績
2023第54回全日本大会8位
2023全日本体重別-80kg級2位
2024全日本体重別-90kg級優勝
2025第7回世界体重別-90kg級2位

リザーブからの出場ながら準優勝となった第7回世界体重別大会-90kg級では、優勝候補のフェドシーフ・アレクセイに得意の上段前蹴りを決めて技有りを奪う劇的な勝利をあげて会場を沸かせた山上大輝。この大会では、打ち合いや駆け引きでも成長を見せるなど、世界の頂点へ着実に歩を進めていることを証明した。真価を問われる今回の無差別全日本。「誰が相手でも前蹴りを決める自信がある」と豪語する山上の試合から目を離してはいけない。

男子Cブロック/No.52 OHATA RYOJI

大秦稜司

崩れない、プレない、小細工なしの強さ
世界体重別優勝者が無差別の頂点へ挑む



おおはた・りょうじ
京都支部、初段
170cm / 82kg / 24歳
◎主な戦績
2022全日本体重別-80kg級優勝
2022第54回全日本大会3位
2024全日本体重別-80kg級4位
2025第7回世界体重別-80kg級優勝

世界体重別大会-80kg級の優勝者として挑む今大会、2年後の世界大会優勝を目標に掲げる大秦稜司にとって無差別全日本の栄冠は決して逃すことのできないタイトルだ。背筋を真っ直ぐ伸ばし、しっかりと腰を沈めて体幹の強さをそのまま解き放つような威力ある突きと下段廻し蹴りが主武器。徹底した基本稽古と基礎体力の上に成り立つ組手は、崩れない、プレない芯の強さを感じさせる。小細工なしの充実の心技体を發揮して頂点へと駆け上がる。

男子Dブロック/No.53 IIZUKA TSUBASA

飯塚 翼

悔しい時間にピリオドを打つため
大型選手を退け全日本の主役になる



いいづか・つばさ
東京城北支部、初段
173cm / 80kg / 23歳
◎主な戦績
2022第53回全日本大会8位
2022全日本体重別-70kg級優勝
2023-2024全日本体重別-80kg級優勝
2025第7回世界体重別-80kg級2位

これまで全日本体重別3連覇&2階級制覇など華々しい戦績を残している飯塚翼。だが、昨年の第56回全日本大会は3回戦敗退、4月の世界体重別大会-80kg級では決勝で大秦稜司に敗れ準優勝。悔しい時間にピリオドを打つためには、今大会で優勝の栄誉を掴むしかない。飯塚の真骨頂は、持ち前のスピードと抜群のスタミナ、類まれな組手のセンス、そして大型選手を相手に安定感のある組手が遂行できたとき、初めて無差別全日本の主役になれる。

男子Aブロック/No.13 NAGASAWA YAMATO

長澤大和

全日本体重別3位&真正会全日本優勝
勢いに乗って遂に大輪の花を咲せるか!?



ながさわ・やまと

北大阪支部、初段
177cm/92kg/25歳
○主な戦績
2021西日本大会4位
2022全日本体重別+90kg級2位
2023東日本大会3位
2025全日本体重別+90kg級3位

2023年の第13回世界大会後、約1年半の充電期間を経て今年は8月の全日本体重別+90kg級3位、11月の真正会全日本+75kg級優勝と調子を上げる。突きと下段蹴りを軸とした攻撃力は日本トップクラス。加えて足掛けや間合いの取り方など細かいテクニックの向上が見られる。過去2度の世界大会出場経験もあり、いよいよ大輪の花を咲かせる時が到来するかもしれない。

男子Aブロック/No.14 KIYAMA SHIYU

木山獅勇

長い手足を操り強い技を振り分ける組手
10代での入賞や優勝の偉業も夢ではない



きやま・しゆう

愛知県古屋支部、初段
186cm/92kg/19歳
○主な戦績
2023-2024愛知県大会優勝
2024全日本体重別-90kg級4位
2024西日本大会2位
2025全日本体重別-90kg級3位

地方大会での入賞やヨーロッパ大会出場で着実に経験を重ねているアンダー20世代。186cmの長身ながらステップワークを駆使し、長い手足を自在に操って強い技を振り分ける組手は、まだ未完成ながら他の日本選手に並ぶ者がいないほど魅力にあふれている。8月の全日本体重別大会は-90kg級3位、課題がクリアできていれば10代での入賞や優勝の偉業も夢ではない。

男子Bブロック/No.26 AKIYAMA DAICHI

秋山大知

鋭い足運びと強固で老練な組手が持ち味
ブレイク間近の有望株が一気に羽ばたく



あきやま・だいち

東京城西世田谷東支部、初段
177cm/89kg/21歳
○主な戦績
2024愛知県大会3位
2024全関東大会+80kg級優勝
2023-2025東日本大会優勝
2025全日本体重別-90kg級2位

21歳という若さながら、強固で老練な組手が持ち味の秋山大知。安定した下半身と鋭い足運びで、突き蹴りを的確に当てていく。8月の全日本体重別大会-90kg級は惜しくも準優勝だったが、それでも世界大会前日本代表の佐藤拓海や勢いのある木山獅勇を寄せ付けず、確かな強さを見せて存在感を示していた。ブレイク間近の有望株が、今大会で一気に羽ばたくか!?

男子Bブロック/No.29 KATO RYOSEI

加藤竜成

見るたびに実力を伸ばす若手の成長株
小兵ゆえの特徴を生かした初挑戦に期待



かとう・りょうせい

神奈川横浜東支部、初段
168cm/68kg/19歳
○主な戦績
2023全関東大会-60kg級優勝
2023-2024全日本体重別-60kg級4位
2025全日本体重別-70kg級4位
2025神奈川県大会優勝

8月の全日本体重別大会では、初入賞した前年から階級を上げ、-70kg級で再び入賞。19歳という若さもあり、見るたびに実力を伸ばしている成長株だ。視野の広い組手をし、威力のある突き蹴りを武器に、自分のベースに巻き込む力を持っている。初の無差別全日本はどのような戦法で挑むのか。小兵ゆえの特徴を生かしたフレキシブルな若手の挑戦を楽しみにしたい。

男子Cブロック/No.36 GORIUSHKIN DANIL

ゴリウシキン・ダニル

“規格外”的パワーが再び全日本に襲来
昨年4位の悔しさを初優勝で晴らす



L.K.O.ロシア、武段

195cm/106kg/27歳

○主な戦績

2022ロシアンカップ+90kg級2位
2023全ロシア無差別大会4位
2024-2025全ロシア体重別+90kg級3位
2024第56回全日本大会4位

昨年の第56回全日本大会で4位に入賞し一躍注目を浴びることになったゴリウシキン・ダニル。身体のサイズは195cm、106kgと“規格外”的のスケールを誇り、第13回世界大会では杉板28枚を割って試割賞を獲得して桁外れのパワーを知らしめた。強豪が揃う全ロシア大会は昨年・今年と2年連続+90kg級3位。L.K.O.ロシアの怪物が全日本のタイトルに王手をかける。

男子Cブロック/No.39 KANEHISA KEITARO

兼久啓太朗

セミコンタクトルールは3度の優勝実績
全日本体重別初入賞の自信を携え上位へ



かねひさ・けいたろう

東京城北支部、初段
179cm/90kg/26歳
○主な戦績
2024埼玉県大会優勝
2024東日本大会優勝
2025愛知県大会3位
2025全日本体重別-90kg級4位

過去にL.K.O.セミコンタクトルールで3度優勝し、大学時代は全空連系の空手部に所属して全国大会にも出場。だが、兼久啓太朗が最終的な目標に選んだのはL.K.O.極真ルールの頂点、無差別の全日本であり世界大会だ。離れた間合いも得意だが、近距離の間合いでも十分戦えることを示した8月の全日本体重別大会は-90kg級で初入賞。自信を携えた兼久が上位進出を狙う。

男子Cブロック/No.43 TAMIZU HARUKI

田水春樹

天性の体幹の強さと東京城西支部の戦術急成長を遂げ優勝を射程圏内に收める



たみづ・はるき

東京城西支部、初段
182cm/105kg/21歳
◎主な戦績
2024年第56回全日本大会新人賞
2025埼玉県大会優勝
2025愛知県大会優勝
2025全日本体重別+90kg級2位

急成長を遂げる超新星・田水春樹。昨年の第56回全日本大会で新人賞を獲得し、今年春には2つの地方大会を制して実績と経験を積み、8月の全日本体重別大会+90kg級では西村大河と再延長7分間に及ぶ死闘を演じた。体幹の強さは世界トップクラスにも引けを取らず、加えて東京城西支部ならではのタクティクスを身に付ける。田水にとって優勝はもはや射程圏内だ。

男子Cブロック/No.48 HIRASAWA TAKUMI

平沢拓巳

技が多彩で間合いの操作も巧みひと皮むければさらに高い領域へ



ひらざわ・たくみ

東京城西支部、式段
178cm/73kg/24歳
◎主な戦績
2021全関東大会-70kg優勝
2022全日本体重別-70kg級4位
2025全日本体重別-70kg級3位

以前の試合巧者ぶりにフィジカル面の向上がプラスされ、8月の全日本体重別大会では-70kg級3位に入賞した平沢拓巳。付いてよし、離れてよし、技の多彩さもあって間合いの操作も巧み。センスを感じさせる組手スタイルだが、技の正確性に改善の余地があり、今は力を持て余している印象だ。今大会でひと皮むくことができれば、さらに高い領域へ行けるはずだ。

男子Dブロック/No.58 NAGASAWA RYOMA

長澤龍馬

力強い突き蹴りを叩き込む無骨なスタイル兄と世界大会に出場するための足掛かりに



ながさわ・りょうま

北大阪支部、初段
170cm/80kg/23歳
◎主な戦績
2024西日本大会4位
2025全関西大会優勝
2025全中四国大会優勝
2025全日本体重別-80kg級2位

8月の全日本体重別大会は自身最高位の-80kg級準優勝となった長澤龍馬。今まで2歳上の兄・大和の陰に隠れている印象だったが、順位的に+90kg級3位の兄を抜き、遂にその実力が認められるようになった。組手は、下段廻し蹴りを主武器にして力強い突き蹴りを相手に叩き込む無骨なスタイル。兄と共に世界大会に出場するという目標のため、今大会を足掛かりにする。

男子Dブロック/No.61 FEDOSEEV ALEKSEI

フェドシーフ・アレクセイ

今年の全ロシア無差別大会で初優勝難攻不落のロシア王者が日本を脅かす



I.K.O.ロシア、式段

179cm/90kg/27歳
◎主な戦績
2023年第13回世界大会8位
2025ジアンオープーン-90kg級優勝
2024-2025全ロシア体重別-90kg級優勝
2025全ロシア無差別大会優勝

I.K.O.ロシアで安定した実力を誇っているフェドシーフ・アレクセイ。コロナ禍以降の全ロシア大会-90kg級で3度優勝、第13回世界大会でも8位に入賞した。さらに今年の全ロシア無差別大会で初優勝するなど、今がキャリアの絶頂期と言える。組手は、防御技術もカウンターも巧く、一打逆転の大技も持っている。難攻不落のフェドシーフが全日本の王座を虎視眈々と狙う。

Dブロック/No.62 NAVARRO ALEJANDRO

ナヴァロ・アレハンドロ

49歳にしてその強さいまだ衰えず
目指すは2度目の全日本大会制覇



I.K.O.スペイン、参段

180cm/92kg/49歳
◎主な戦績
2012年第44回全日本大会優勝
2013年第5回世界体重別-90kg級優勝
2025第7回世界体重別-90kg級3位
2021~2025ヨーロッパ体重別-90kg級優勝

今や世界中から“極真のレジェンド”と讃えられ、49歳の今もなお現役のトップ選手として活躍するナヴァロ・アレハンドロ。全日本、全米、全欧州と各大陸で覇者となり、世界体重別大会も2013年に-90kg級で優勝を遂げた。その強さはいまだ衰え知らず、4月の第7回世界体重別大会は3位入賞で復活を印象づけた。レジェンドが狙うのは、もちろん2度目の全日本制覇だ。

男子Dブロック/No.65 AKIYAMA KAZUTO

穂山和斗

将来を嘱望される弱冠20歳の新星
得意の上段膝蹴りを無差別で決める!



あきやま・かずと

東京城西支部、初段
184cm/77kg/20歳
◎主な戦績
2025埼玉県大会2位
2025全日本体重別-80kg級4位

8月の全日本体重別大会-80kg級で初入賞するなど、将来を嘱望される穂山和斗。20歳という若さに加え、184cmの長いリーチから繰り出される攻撃は一撃必倒のキレを持つ。特に上段膝蹴りを出すタイミングは抜群で、今後さらに肉体改造で身体が大きくなれば世界の強豪とも十分渡り合える。今、必要なのは経験と自信。どこまで自分の可能性を広げられるのか、期待したい。

女子Aブロック/No.101 KOJOY MINAMI

小城みなみ

得意の上段前蹴りに期待と希望を乗せて
世界体重別優勝者が全日本の頂点に挑む



こじょう・みなみ

千葉北支部、初段
170cm/63kg/22歳
◎主な戦績
2022東日本大会優勝
2023全日本体重別+55kg級4位
2024全日本体重別-65kg級優勝
2024第56回全日本大会4位
2025第7回世界体重別-65kg級優勝

女子Dブロック/No.120 MIYAMOTO JIN

宮本 神

昨年の準優勝者で今大会は優勝候補の最右翼
自分の力を最大限に引き出し必ず王座を掴む



みやもと・じん

本部直轄浅草道場、初段
167cm/72kg/25歳
◎主な戦績
2023全日本体重別+55kg級2位
2024・2025全日本体重別+65kg級優勝
2024第56回全日本大会2位
2025第7回世界体重別+65kg級2位

昨年の第56回全日本大会と今年4月の世界体重別大会+65kg級を連覇したザベリナ・エリザベータが不参加の今大会で、優勝候補の最右翼と見られているのが、前述の2大会で準優勝した宮本神だ。2大会続いた決勝戦敗退の悪い流れを断ち切るために出場した8月の全日本体重別大会では+65kg級で堂々の2連覇を達成。これまでの強引とも言えるアグレッシブな組手から、落ち着いて相手の動きを見ながら要所で強力な技を叩き込むクレバーな組手へと進歩を感じさせた。ザベリナとの計3度の対戦で、パワーだけでは相手が倒れないことを実感した宮本は、正確に技を決めるため、「身体の軸が崩れないように、足腰と体幹を徹底的に鍛え直した」という。「まだ自分の力を最大限に出し切れていない」と語る宮本が、本来持っている能力を全て引き出した時、初めて無差別全日本のタイトルを手中に收めることができる。

女子Aブロック/No.105 SUZUKI CHISHINO

鈴木千凌

19歳の若さで今やトップ選手に成長
初の全日本でどんな活躍を見せるか



すずき・ちしの

東京城南池上支部、初段

165cm / 58kg / 19歳

◎主な戦績

2023全関東大会—55kg級2位

2023全日本体重別—55kg級4位

2024全日本体重別—55kg級2位

2025第7回世界体重別—55kg級2位

狙いすました上段前蹴りでIK.O.ロシアの強豪を相手に2つの技有りを奪い、世界体重別大会—55kg級で準優勝した鈴木千凌。ユース時代から数々の大会で優勝・入賞を繰り返してきた鈴木は、19歳の若さで今や全日本体重別、世界体重別でも入賞するトップ選手に成長した。「世界体重別で得た気づきを稽古に落とし込み、質の高い組手を目指したい」と語る鈴木が、初出場となる無差別全日本大会でどんな活躍を見せるのか、大いに期待したい。

女子Bブロック/No.110 KARPOVA EKATERINA

カルポワ・エカテリーナ

日本選手にとってもはや異次元の体格
覚醒したカルポワが全日本優勝を誓う



I.K.O.ロシア、初段

183cm / 85kg / 22歳

◎主な戦績

2024全ロシア体重別+65kg級2位

2025ロシアアンオープン+65kg級優勝

2025第7回世界体重別+65kg級3位

2025全ロシア体重別+65kg級優勝

今大会に出場する女子選手の中で、カルポワ・エカテリーナの身長183cm、体重85kgはもはや異次元の体格と言える。4月の世界体重別大会は+65kg級3位。この時点ではまだ大きな体格に依存した組手という印象だったが、その部分の改善に努めたことで10月の全ロシア大会では絶対的な存在だった王者ザベリナ・エリザベータを退けて初優勝を遂げた。覚醒したカルポワが今大会ではIK.O.ロシアを代表して全日本タイトル奪取を誓う。

女子Cブロック/No.111 CHINEN RUKA

知念琉花

思考と行動をテーマに稽古する理論派
力を最大限に發揮して優勝を実現する



ちねん・るか

神奈川横浜北支部、初段

171cm / 64kg / 24歳

◎主な戦績

2021東日本大会優勝

2021全関東大会+55kg級優勝

2022第54回全日本大会3位

2025第7回世界体重別—65kg級2位

世界体重別大会—65kg級で準優勝した知念琉花。この大会で得た一番の収穫を「思考の幅が広がったこと」と語るなど、「思考と行動」をテーマに稽古を重ねる理論派で、準備運動の段階から細かい動きをどうやって組手に活かせるのかを考えているという。昨年の全日本大会は、ザソリナ・クセニアと2度の延長戦を繰り広げ悔しい負け方をしたが、同じ轍を踏まぬよう十分に研鑽を積んできた。知念の力が最大限に発揮されれば優勝が現実となる。

女子Cブロック/No.115 MORIOKA YUMI

森岡優海

弱冠20歳ながら経験値は既にベテラン
決定打の技を發揮し無差別でも上位に



もりおか・ゆうみ

東京城西国分寺支部、初段

167cm / 56kg / 20歳

◎主な戦績

2023全日本体重別—55kg級優勝

2024全日本体重別—55kg級4位

2025第7回世界体重別—55kg級4位

2025全日本体重別—55kg級優勝

全日本体重別大会—55kg級では2023年&2025年の2度優勝し、無差別世界大会や世界体重別大会にも日本代表として出場するなど、弱冠20歳ながら経験値は既にベテランと言ってもいい。無差別は厳しい試合が続くことが予想されるが、世界体重別では延長でも諦めない粘り強さ、全日本体重別では最後に勝ち切る精神面の成長が見られた。今大会に向けて「決定打となる上段蹴りや足掛けの技を磨いた」と語る森岡の組手に注目したい。

女子Aブロック/No.104 IMAI AYA

今井彩弥

体重別の優勝を確かな自信に変えて
一人でも多くの格上選手に勝ちたい



いまい・あや

東京城西世田谷東支部、初段

160cm/58kg/21歳

◎主な戦績

2025埼玉県大会2位

2025愛知県大会優勝

2025東日本大会+55kg級2位

2025全日本体重別-60kg級優勝

-55kg級から-60kg級へ階級を上げて臨んだ8月の全日本体重別大会、今井彩弥は全日本クラスの大会で初めて優勝を掴んだ。全日本は今回が2度目の挑戦。左右に素早くポジションを変え細かい技から大技に繋げる今井のスピード感溢れる組手は無差別でこそ活きてくる。「自分より実績のある選手に一人でも多く勝ちたい」という今井がどこまで勝ち上がるのか、注目される。

女子Bブロック/No.107 FUKUNAGA YURA

福永ゆら

東京城西支部のテーマは「無差別優勝」
熱き魂を胸に刻み2度目の全日本に挑む



ふくなが・ゆら

東京城西支部、初段

155cm/54kg/20歳

◎主な戦績

2024西日本大会優勝

2024-2025埼玉県大会優勝

2023-2025東日本大会-55kg級優勝

2025全日本体重別-55kg級2位

初出場となった昨年の第56回全日本大会は、2回戦で強豪ロマネンコ・ダリアに敗れたものの、体格差のある相手に健闘が光った。今年は3月の埼玉県大会と5月の東日本大会で優勝し、8月の全日本体重別大会は-55kg級準優勝。一歩一歩成長していることを実感した。「無差別優勝」をテーマに掲げる東京城西支部の熱き魂は、福永ゆらの小さな身体にも宿っている。

女子Dブロック/No.117 SUZUKI KANA

鈴木花菜

突きと柔らかさを活かした蹴りに注目
目標は強豪を攻略し初入賞すること



すずき・かな

総本部横須賀道場、初段

156cm/58kg/24歳

◎主な戦績

2023全関東大会+55kg級3位

2024東日本大会+55kg級優勝

2025東日本大会+55kg級4位

2025全日本体重別-60kg級2位

昨年の東日本大会+55kg級で優勝するなど、これまで地方大会や地区大会で実績を積んできたが、今年は8月の全日本体重別大会で新設された-60kg級で準優勝して全国にその名を知らしめた。突き技を軸に左右への回り込みや身体の柔らかさを活かした蹴り技が得意。無差別全日本大会は今回が4度目の出場だが、目標は強豪と言われる相手を攻略し、初入賞することだ。

女子Bブロック/No.106 FUJIMOTO MIO

藤本美桜

得意の上段蹴りで全日本体重別制覇
東北の夢を乗せて無差別で頂点を狙う



ふじもと・みお

総本部岩手道場、初段

162cm/63kg/23歳

◎主な戦績

2024全日本体重別-65kg級4位

2024全東北大会2位

2025全日本体重別-65kg級優勝

2023国際親善大会一般防具付きの部で優勝し、昨年の全日本体重別大会は-65kg級3位。迎えた今年の全日本体重別大会では前年敗れた河合風香と徳田茄麗の2名から得意の上段蹴りで技有りをマークして初優勝を遂げた。何度も窮屈に立ったが、それを救ったのが少年部から叩き上げた上段蹴りだった。目標は「岩手から世界へ」、東北の夢を乗せて藤本美桜の挑戦が始まる。

女子Dブロック/No.116 OKADA SATSUKI

岡田冴月

期待に応え、夢を叶えるため
宮本神を破りその先に上がる



おかだ・さつき

東京城西世田谷東支部、初段

167cm/75kg/19歳

◎主な戦績

2022西日本大会優勝

2024全日本体重別+65kg級3位

2025全日本体重別+65kg級2位

全日本体重別大会は宮本神に決勝で敗れ+65kg級準優勝。昨年に続き宮本には2連敗となつたが、この差を埋めるためこの4ヵ月は道場に通い詰めた。自身が所属する昭島道場は全日本体重別に秋山大知、今井彩弥と3名の入賞者を送り出すなど、今最も勢いのある道場だ。先生や仲間の期待に応えるため、何より自分の夢を叶えるため、宮本を破ってその先の階段を上がる。

女子Dブロック/No.118 TOKORO HANA

所羽奈

真正会全日本無差別で殊勲の優勝
自信と勢いで初の上位進出を狙う



ところ・はな

東京城北支部、初段

155cm/53kg/20歳

◎主な戦績

2022東日本大会-55kg級優勝

2025真正会全関東大会優勝

2023-2025全日本体重別-50kg級優勝

2025真正会全日本無差別優勝

全日本体重別大会-50kg級で2度優勝するなど、最軽量の階級では第一人者の位置にいる所羽奈。ただし、体重別と同じ組手では無差別で通用しないことを誰よりも自覚しているのが所本人である。そのため11月には真正会全日本大会無差別級に出場し、決勝で30kg以上重い相手に判定勝ち。前哨戦を最高の形でクリアした。その自信と勢いが今大会でも所に勝利をもたらす。

COMPETITOR'S LIST

A BLOCK



B BLOCK



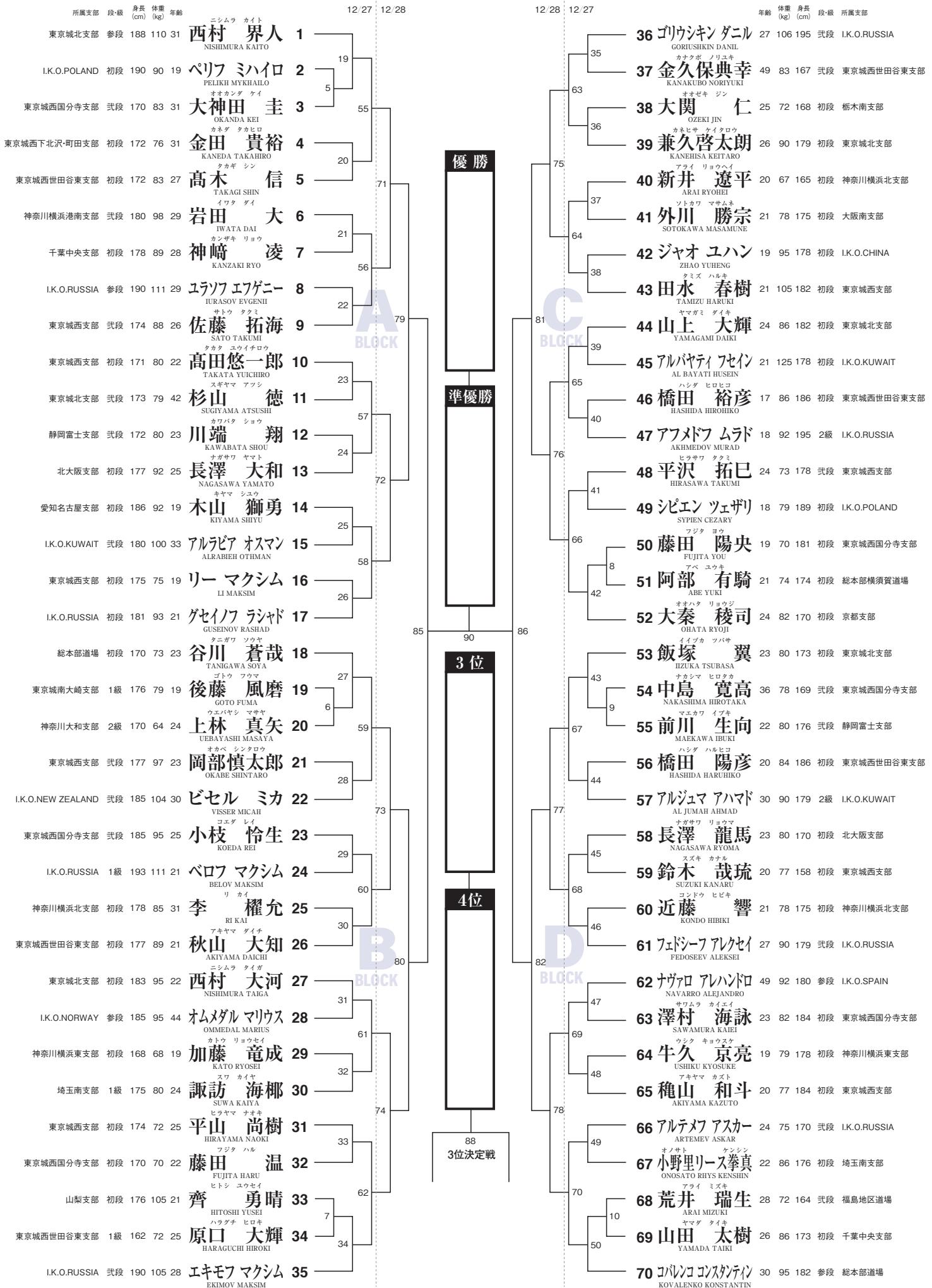
C BLOCK



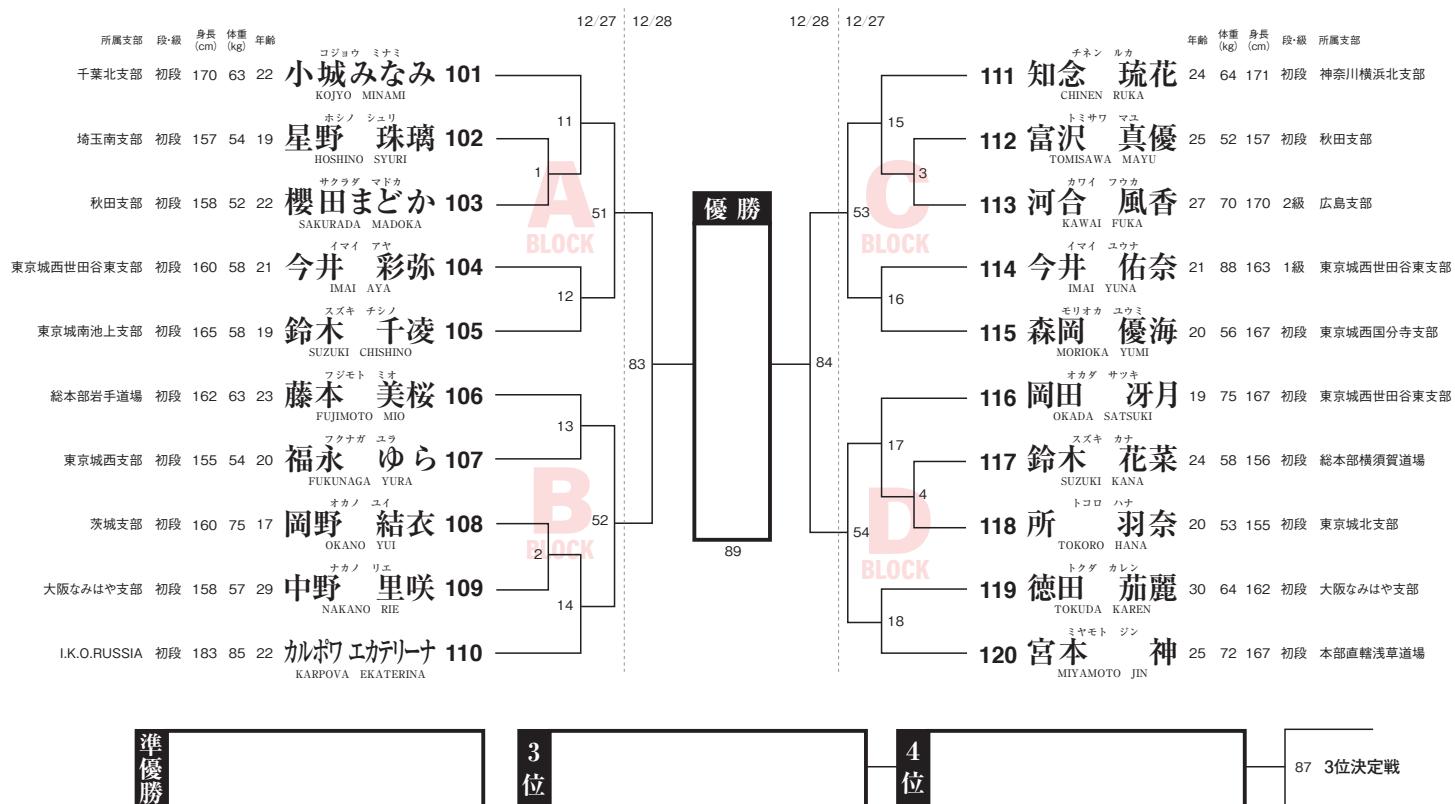
D BLOCK



第57回オープントーナメント全日本空手道選手権大会(男子)



第57回オープントーナメント全日本空手道選手権大会(女子)



第57回オープントーナメント全日本空手道選手権大会（女子）出場選手一覧



試割表 (男子)

■Aブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

■Cブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

■Bブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

■Dブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

■第57回全日本空手道選手権大会 男子入賞者

優 勝

準優勝

第3位

第4位

第5位

第6位

第7位

第8位

■第57回全日本空手道選手権大会 女子入賞者

優 勝

準優勝

第3位

第4位

敢闘賞

技能賞

新人賞

試割賞 (男子)

(枚)



全日本・全世界空手道選手権大会 歴代入賞者一覧 (男子)

第1回全日本空手道選手権大会
1969年9月20日○東京体育館
優勝: 山崎照朝
2位: 添野義二
3位: 長谷川一幸
4位: 朴邦治
5位: ポール・ジャクソン
6位: 利川重男

第2回全日本空手道選手権大会
1970年9月26日○東京体育館
優勝: 長谷川一幸
2位: 山崎照朝
3位: 添野義二
4位: 増田賢一
5位: 金次憲
6位: 佐藤定志

第3回全日本空手道選手権大会
1971年10月24日○東京体育館
優勝: 佐藤勝昭
2位: 大山泰彦
3位: 大石代悟
4位: 三浦美幸
5位: 金城健一
6位: 吉岡幸男

第4回全日本空手道選手権大会
1972年10月22日○東京体育館
優勝: 三浦美幸
2位: ハワード・コリンズ
3位: 佐藤俊和
4位: 山崎照朝
5位: 添野義二
6位: 今泉幸久

第5回全日本空手道選手権大会
1973年11月4日○東京体育館
優勝: 虞山初雄
2位: 山崎照朝
3位: 佐藤俊和
4位: 佐藤勝昭
5位: 富権宣資
6位: 松友登喜良
7位: 浜井誠安
8位: 二宮城光

第6回全日本空手道選手権大会
1974年11月9日~10日○東京体育館
優勝: 佐藤勝昭
2位: 東孝
3位: 虞山初雄
4位: 西田幸夫
5位: 佐藤俊和
6位: 大石代悟

7位: 山田政彦
8位: 三瓶啓二

第1回全世界空手道選手権大会
(第7回全日本大会を兼ねる)
1975年11月1日~2日○東京体育館
優勝: 佐藤勝昭
2位: 虞山初雄
3位: 二宮城光
4位: 大石代悟
5位: 佐藤俊和
6位: 東孝
7位: チャーリーズ・マーチン
8位: フランク・クラーク

第8回全日本空手道選手権大会
1976年10月30日~31日○東京体育館
優勝: 佐藤俊和
2位: 二宮城光
3位: 東孝
4位: 沢柳俊夫
5位: 三瓶啓二
6位: エディー・フレイジャー
7位: 野口敏郎
8位: 中山明

第9回全日本空手道選手権大会
1977年11月5日~6日○東京体育館
優勝: 東孝
2位: 中山猛夫
3位: 中村誠
4位: 浜井誠安
5位: 中村辰夫
6位: 三瓶啓二
7位: 廣重毅
8位: 斎藤良二

第10回全日本空手道選手権大会
1978年11月18日~19日○東京体育館
優勝: 二宮城光
2位: 三瓶啓二
3位: 中村誠
4位: 廣重毅
5位: 三好一男
6位: 濱戸秀二
7位: 鈴木勝
8位: 川畑幸一

第11回全日本空手道選手権大会
1979年5月18日○東京体育館
優勝: 中村誠
2位: 三瓶啓二
3位: 東孝
4位: 野口敏郎
5位: 廣重毅

6位: 三好一男
7位: 川畑幸一
8位: 立崎辰雄

第2回全世界空手道選手権大会
1979年11月23日~25日○日本武道館
優勝: 中村誠
2位: 三瓶啓二
3位: 松井章圭
4位: アデミール・ダ・コスタ
5位: 大西靖人
6位: ニコラス・ダ・コスタ
7位: 田原敬三
8位: デイブ・グリーブス
敢闘賞: ジェームス北村

第12回全日本空手道選手権大会
1980年11月15日~16日○東京体育館
優勝: 三瓶啓二
2位: 中村誠
3位: 永隆
4位: 松井章圭
5位: 矢島史郎
6位: ミカエル・ソーデルクビスト
7位: 竹山晴友
8位: 白石昌幸

第13回全日本空手道選手権大会
1981年11月14日~15日○東京体育館
優勝: 三瓶啓二
2位: 中村誠
3位: 松井章圭
4位: 白石昌幸
5位: 三好一男
6位: 田中正文
7位: 竹山晴友
8位: 前田政利

第14回全日本空手道選手権大会
1982年11月13日~14日○東京体育館
優勝: 三瓶啓二
2位: 水口敏夫
3位: 松井章圭
4位: 三好一男
5位: 竹山晴友
6位: アデミール・ダ・コスタ
7位: 脇内勉
8位: 増田章
敢闘賞: アデミール・ダ・コスタ
増田章
新人賞: 山岡哲基

第15回全日本空手道選手権大会
1983年11月12日~13日○東京体育館
優勝: 大西靖人
2位: 小笠原和彦
3位: 竹山晴友
4位: 三好一男
5位: 増田章
6位: 水口敏夫

7位: 三瓶啓二
8位: 松井章圭
敢闘賞: 大西靖人
新人賞: 藤田耕太郎

第3回全世界空手道選手権大会
1984年1月20日~22日○日本武道館
優勝: 中村誠
2位: 三瓶啓二
3位: 松井章圭
4位: アデミール・ダ・コスタ
5位: 大西靖人
6位: ニコラス・ダ・コスタ
7位: 田原敬三
8位: デイブ・グリーブス
敢闘賞: ジェームス北村

第16回全日本空手道選手権大会
1984年11月3日~4日○東京体育館
優勝: 黒澤浩樹
2位: 竹山晴友
3位: 水口敏夫
4位: 木元正資
5位: 小笠原和彦
6位: 五井克仁
7位: 敷島知章
8位: 湯澤元美
敢闘賞: 七戸康博
新人賞: 奥村啓治

第17回全日本空手道選手権大会
1985年11月3日~4日○東京体育館
優勝: 松井章圭
2位: 黒澤浩樹
3位: 増田章
4位: ジェームス北村
5位: 緑健児
6位: 大賀雅裕
7位: 内山武盛
8位: 小井義和
敢闘賞: 緑健児
新人賞: 岡本信夫

第18回全日本空手道選手権大会
1986年11月2日~3日○代々木第一体育館
優勝: 松井章圭
2位: 増田章
3位: 八巻建志
4位: 小井義和
5位: 七戸康博
6位: 奥村幸一
7位: 小笠原和彦
8位: 桑島保浩
敢闘賞: ミッキエル・ウェーデル
技能賞: 豊田宜邦
新人賞: ウシュリフ・ジョアド
ビーター・スマット

第4回全世界空手道選手権大会
(第19回全日本大会を兼ねる)
1987年11月6日~8日○日本武道館
優勝: 松井章圭
2位: アンディ・フグ
3位: 増田章

4位:マイケル・トンプソン
5位:アデミール・ダ・コスタ
6位:黒澤浩樹
7位:七戸康博
8位:ニコラス・ダ・コスタ
敢闘賞:ジェフリー・セベカル
技能賞:緑 健児
試割賞:スピグニウ・マタシ(22枚)

第20回全日本空手道選手権大会
1988年11月19日~20日○両国国技館
優勝:桑島保浩
2位:石井 豊
3位:八巻建志
4位:山口 徹
5位:高橋 衛
6位:ホセイン・サディカマル
7位:草階 謙
8位:柴田英樹
敢闘賞:高橋 衛
技能賞:吉岡 智
試割賞:袖井知志(25枚)
新人賞:石井 豊

第21回全日本空手道選手権大会
1989年12月23日~24日○両国国技館
優勝:八巻建志
2位:田村悦宏
3位:桑島保浩
4位:増田 章
5位:川本英児
6位:石井 豊
7位:滝田 嶽
8位:七戸康博
敢闘賞:アビブ・ザルコ
技能賞:ステファン・タキワ
試割賞:川本英児(22枚)
新人賞:川本英児

第22回全日本空手道選手権大会
1990年12月1日~2日○東京体育館
優勝:増田 章
2位:緑 健児
3位:岩崎達也
4位:外館慎一
5位:三明広幸
6位:南 豪宏
7位:内山武盛
8位:八巻建志
敢闘賞:三明広幸
技能賞:緑 健児
試割賞:阿部清文(24枚)
新人賞:南 豪宏

第5回全世界空手道選手権大会
(第23回全日本大会を兼ねる)
1991年11月2日~4日○東京体育館
優勝:緑 健児
2位:増田 章
3位:黒澤浩樹
4位:ジャン・リビエール
5位:八巻建志
6位:石井 豊
7位:七戸康博
8位:ショニー・クレイン
敢闘賞:フランシスコ・フィリオ
技能賞:マイケル・トンプソン
試割賞:阿部清文(24枚)

第24回全日本空手道選手権大会
1992年10月31日~11月1日○東京体育館
優勝:田村悦宏
2位:数見 肇
3位:岡本 徹
4位:七戸康博
5位:石井 豊
6位:杉村多一郎
7位:八巻建志
8位:小川俊一
敢闘賞:数見 肇
技能賞:岡本 徹
試割賞:阿部清文(31枚)

第25回全日本空手道選手権大会
1993年10月29日~30日○東京体育館
優勝:数見 肇
2位:田村悦宏
3位:岡本 徹
4位:七戸康博
5位:青木英憲
6位:黒澤浩樹
7位:八巻建志

8位:野上利幸
試割賞:数見 肇(23枚)

第26回全日本空手道選手権大会
1994年10月29日~30日○東京体育館
優勝:八巻建志
2位:数見 肇
3位:市村直樹
4位:岡本 徹
5位:吾孫子功二
6位:塙本徳臣
7位:谷川 光
8位:川原奈穂樹
敢闘賞:塙本徳臣
技能賞:川原奈穂樹
試割賞:数見 肇(26枚)

第6回全世界空手道選手権大会
(第27回全日本大会を兼ねる)
1995年11月3日~5日○東京体育館
優勝:八巻建志
2位:数見 肇
3位:フランシスコ・フィリオ
4位:ギャリー・オニール
5位:ニコラス・ベタス
6位:黒澤浩樹
7位:ルシアーノ・バジレ
8位:グラウベ・フェイトーザ
敢闘賞:黒澤浩樹
技能賞:成嶋 竜
試割賞:ウォルター・シュナーベルト(29枚)

第28回全日本空手道選手権大会
1996年11月3日~4日○東京体育館
優勝:数見 肇
2位:ギャリー・オニール
3位:高久昌義
4位:高尾正紀
5位:市村直樹
6位:ウォルター・シュナーベルト
7位:田村悦宏
8位:堀池典久
敢闘賞:野地竜太
技能賞:成嶋 竜
試割賞:数見 肇(29枚)

第29回全日本空手道選手権大会
1997年11月1日~2日○東京体育館
優勝:数見 肇
2位:ギャリー・オニール
3位:堀池典久
4位:田村悦宏
5位:守友完矢
6位:市村直樹
7位:高尾正紀
8位:岩崎達也
敢闘賞:岩崎達也
技能賞:ギャリー・オニール
試割賞:ウォルター・シュナーベルト(25枚)

第30回全日本空手道選手権大会
1998年11月14日~15日○東京体育館
優勝:数見 肇
2位:田村悦宏
3位:木山 仁
4位:野地竜太
5位:高久昌義
6位:市村直樹
7位:門井敦嗣
8位:木村靖彦
敢闘賞:木立裕之
技能賞:伊藤 慎
試割賞:岩崎達也(27枚)

第7回全世界空手道選手権大会
(第31回全日本大会を兼ねる)
1999年11月5日~7日○東京体育館
優勝:フランシスコ・フィリオ
2位:数見 肇
3位:アレキサンダー・ピチュクノフ
4位:グラウベ・フェイトーザ
5位:ニコラス・ベタス
6位:木村靖彦
7位:野地竜太
8位:成嶋 竜
敢闘賞:福田達也
技能賞:成嶋 竜
試割賞:エミル・コストフ(25枚)

第32回全日本空手道選手権大会
2000年11月4日~5日○東京体育館
優勝:木山 仁

2位:木村靖彦
3位:市村直樹
4位:木立裕之
5位:池田雅人
6位:伊藤 慎
7位:田中健太郎
8位:幸 龍敬
敢闘賞:子安慎悟
技能賞:伊藤 慎
試割賞:池田雅人(24枚)

第33回全日本空手道選手権大会
2001年11月3日~4日○東京体育館
優勝:木山 仁
2位:木村靖彦
3位:足立慎史
4位:市川雅也
5位:池田雅人
6位:池田祥規
7位:田中健太郎
8位:加藤達哉
敢闘賞:市川雅也
技能賞:池田雅人
試割賞:池田雅人(29枚)

第34回全日本空手道選手権大会
2002年11月2日~3日○東京体育館
優勝:数見 肇
2位:木山 仁
3位:田中健太郎
4位:徳田忠邦
5位:住谷 統
6位:入澤 群
7位:市村直樹
8位:洪 太星
敢闘賞:徳田忠邦
技能賞:木山 仁
試割賞:住谷 統(23枚)
新人賞:洪 太星

第8回全世界空手道選手権大会
(第35回全日本大会を兼ねる)
2003年11月1日~3日○東京体育館
優勝:木山 仁
2位:セルゲイ・ブレカノフ
3位:エウェルトン・ティシェイラ
4位:グラウベ・フェイトーザ
5位:レチ・クルバノフ
6位:木村靖彦
7位:セルゲイ・オシボフ
8位:木立裕之
敢闘賞:木立裕之/エミル・コストフ
技能賞:田ケ原正文
試割賞:セルゲイ・ブレカノフ(29枚)

第36回全日本空手道選手権大会
2004年11月6日~7日○東京体育館
優勝:田中健太郎
2位:徳田忠邦
3位:ミハエル・コズロフ
4位:マキシム・デディック
5位:ダルメン・サドヴォカソフ
6位:森村謙信
7位:池本 理
8位:木立裕之
敢闘賞:ミハエル・コズロフ
技能賞:木立裕之
試割賞:徳田忠邦(24枚)
新人賞:池本 理

第37回全日本空手道選手権大会
2005年11月5日~6日○東京体育館
優勝:内田義晃
2位:塙島 修
3位:徳田忠邦
4位:加藤達哉
5位:沢田秀男
6位:田ケ原正文
7位:市村直樹
8位:田中健太郎
敢闘賞:塙島 修
技能賞:田ケ原正文
試割賞:内田義晃(26枚)
新人賞:内田義晃

第38回全日本空手道選手権大会
2006年11月18日~19日○東京体育館
優勝:内田義晃
2位:アルトウール・ホヴァニシアン
3位:ディミトリー・ルネフ
4位:クリストフ・ハプラシカ
5位:木立裕之

6位:別府良建
7位:田中健太郎
8位:池本 理
敢闘賞:クリストフ・ハプラシカ
ディミトリー・ルネフ
試割賞:内田義晃(29枚)
新人賞:原田聰一郎

第9回全世界空手道選手権大会
(第39回全日本大会を兼ねる)
2007年11月16日~18日○東京体育館
優勝:エヴェルトン・ティシェイラ
2位:ヤン・ソウクップ
3位:アルトウール・ホヴァニシアン
4位:ダルメン・サドヴォカソフ
5位:アンドレイ・ステビン
6位:アレハンドロ・ナヴァロ
7位:エドアールド・タナカ
8位:村田達也
敢闘賞:村田達也
技能賞:アルトウール・ホヴァニシアン
試割賞:レチ・クルバノフ(31枚)
新人賞:村田達也

第40回全日本空手道選手権大会
2008年11月1日~2日○東京体育館
優勝:谷口 誠
2位:ザハリ・ダミヤノフ
3位:田中健太郎
4位:木立裕之
5位:村田達也
6位:赤石 誠
7位:イゴール・ティトウコフ
8位:森 善十朗
敢闘賞:ザハリ・ダミヤノフ
イゴール・ティトウコフ
試割賞:ヌルマガメド・マメドフ(29枚)

第41回全日本空手道選手権大会
2009年11月21日~22日○東京体育館
優勝:田中健太郎
2位:アレハンドレ・ナヴァロ
3位:赤石 誠
4位:木立裕之
5位:ダルメン・サドヴォカソフ
6位:別府良建
7位:森 善十朗
8位:エドアールド・タナカ
敢闘賞:三田裕太・鎌田翔平
試割賞:ヌルマガメド・マメドフ(28枚)
新人賞:小林大起

第42回全日本空手道選手権大会
2010年11月20日~21日○東京体育館
優勝:タリエル・ニコラシヴィリ
2位:森 善十朗
3位:田中健太郎
4位:沢田秀男
5位:荒田昇毅
6位:小林大起
7位:レチ・クルバノフ
8位:鎌田翔平
敢闘賞:中村昌永
技能賞:森 善十朗
試割賞:荒木 聰(22枚)
新人賞:高橋佑汰

第10回全世界空手道選手権大会
(第43回全日本大会を兼ねる)
2011年11月4日~6日○東京体育館
優勝:タリエル・ニコラシヴィリ
2位:エヴェルトン・ティシェイラ
3位:ゴデルジ・カバナーゼ
4位:赤石 誠
5位:ザハリ・ダミヤノフ
6位:ニコライ・ダヴィドフ
7位:オレクサンダー・イエロメンコ
8位:イリヤ・カルベンコ
敢闘賞:ゴデルジ・カバナーゼ
技能賞:澤田勇太
試割賞:ザハリ・ダミヤノフ(24枚)
若獅子賞:タリエル・ニコラシヴィリ

第44回全日本空手道選手権大会
2012年11月3日~4日○両国国技館
優勝:アレハンドロ・ナヴァロ
2位:ゴデルジ・カバナーゼ
3位:荒田昇毅
4位:ダルメン・サドヴォカソフ
5位:イリヤ・カルベンコ
6位:安島喬平
7位:鎌田翔平

8位:森 善十朗
敢闘賞:高橋佑汰
技能賞:森 善十朗
新人賞:加賀健弘/デビッド・シャルコシャン
試割賞:イリヤ・カルベンコ(24枚)

第45回全日本空手道選手権大会
2013年11月2日~3日○東京体育館
優勝:安島喬平
2位:アレハンドロ・ナヴァロ
3位:キリル・コチュネフ
4位:小沼隆一
5位:鎌田翔平
6位:イヴァン・メゼンツェフ
7位:上田幹雄
8位:デビッド・シャルコシャン
敢闘賞:中村昌永
技能賞:上田幹雄
新人賞:石崎恋之介/上田幹雄
中島千博/イヴァン・メゼンツェフ
試割賞:ニコライ・ダヴィドフ(22枚)

第46回全日本空手道選手権大会
2014年11月2日~3日○東京体育館
優勝:ダルメン・サドヴォカソフ
2位:荒田昇毅
3位:森 善十朗
4位:鎌田翔平
5位:イリヤ・カルベンコ
6位:上田幹雄
7位:高橋佑汰
8位:キリル・コチュネフ
技能賞:森 善十朗/イリヤ・カルベンコ
試割賞:ジマ・ベルコジャ(25枚)
新人賞:山田拓馬/谷川聖哉

第11回全世界空手道選手権大会
(第47回全日本大会を兼ねる)
2015年11月20日~22日○東京体育館
優勝:ザハリ・ダミヤノフ
2位:ジマ・ベルコジャ
3位:ダルメン・サドヴォカソフ
4位:キリル・コチュネフ
5位:アシヨット・ザリヤン
6位:上田幹雄
7位:イヴァン・メゼンツェフ
8位:荒田昇毅
敢闘賞:アシヨット・ザリヤン
技能賞:高橋佑汰
試割賞:デビッド・シャルコシャン(25枚)
若獅子賞:南原健太

第48回全日本空手道選手権大会
2016年11月5日~6日○東京体育館
優勝:鎌田翔平
2位:高橋佑汰
3位:上田幹雄
4位:荒田昇毅
5位:アシヨット・ザリヤン
6位:コンスタンティン・コバレンコ
7位:谷川聖哉
8位:エルダー・イスマイロフ
敢闘賞:谷川聖哉
技能賞:鎌田翔平
試割賞:デビッド・ナボイアン(24枚)
新人賞:アントン・グリアエフ
ペイ・ノア

第49回全日本空手道選手権大会
2017年11月3日~4日○東京体育館
優勝:高橋佑汰
2位:鎌田翔平
3位:荒田昇毅
4位:上田幹雄
5位:アシヨット・ザリヤン
6位:ゴルデルジ・カバナーゼ
7位:南原健太
8位:オレクサンダー・イエロメンコ
敢闘賞:亘 和孝
技能賞:中島千博
試割賞:アンドレイ・ルジン(22枚)
新人賞:高橋扶汰/奥寺勇輝

第50回全日本空手道選手権大会
2018年10月27日~28日
○武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝:上田幹雄
2位:鎌田翔平
3位:荒田昇毅
4位:キリル・コチュネフ
5位:アンドレイ・ルジン
6位:高橋佑汰

7位:アントン・グリアエフ
8位:オレクサンダー・イエロメンコ
敢闘賞:アントン・グリアエフ
試割賞:西村界人(22枚)
新人賞:長澤大和/山上大輝

第12回全世界空手道選手権大会
(第51回全日本大会を兼ねる)
2019年11月22日~24日
○武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝:上田幹雄
2位:オレクサンダー・イエロメンコ
3位:アンドレイ・ルジン
4位:高橋佑汰
5位:コンスタンティン・コバレンコ
6位:星龍之介
7位:イゴル・ザガイノフ
8位:荒田昇毅
敢闘賞:アシヨット・ザリヤン/星龍之介
技能賞:コンスタンティン・コバレンコ
試割賞:イリヤ・カルベンコ(28枚)
若獅子賞:イゴル・ザガイノフ
イカロ・ナシメント

第52回全日本空手道選手権大会
2020年11月29日
○武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝:コンスタンティン・コバレンコ
2位:西村界人
3位:清水祐貴
4位:石崎恋之介
5位:山川竜馬
6位:加賀健弘

7位:奥寺勇輝
8位:小林健人
敢闘賞:亘 和孝
技能賞:奥寺勇輝
試割賞:コンスタンティン・コバレンコ(25枚)
新人賞:佐藤拓海

第53回全日本空手道選手権大会
2022年4月17日○東京体育館
優勝:西村界人
2位:山川竜馬
3位:加賀健弘
4位:コンスタンティン・コバレンコ
5位:清水祐貴
6位:佐藤拓海
7位:石崎恋之介
8位:飯塚 翼
敢闘賞:飯塚 翼
試割賞:西村界人(28枚)
新人賞:岡部慎太郎

第54回全日本空手道選手権大会
2022年11月20日○東京体育館
優勝:西村界人
2位:コバレンコ・コンスタンティン
3位:大秦稟司
4位:荒田昇毅
5位:加賀健弘
6位:清水祐貴
7位:石崎恋之介
8位:山上大輝
敢闘賞:荒田昇毅
技能賞:大秦稟司

試割賞/コンスタンティン・コバレンコ(22枚)
新人賞/西村大河

第13回全世界空手道選手権大会
(第55回全日本大会を兼ねる)
2023年11月17日~19日○東京体育館
優勝:イエロメンコ・アレクサンダー
2位:西村界人
3位:ルジン・アンドレイ
4位:トウセウ・アントニオ
5位:ザガイノフ・イゴール
6位:コバレンコ・コンスタンティン
7位:エキモフ・マクシム
8位:フェドシーフ・アレクセイ
敢闘賞:岡部慎太郎
技能賞:佐藤拓海/山上大輝
試割賞:ゴリウシキン・ダニル(28枚)
若獅子賞:コストフ・ボゴミル

第56回全日本空手道選手権大会
2024年11月30日~12月1日○東京体育館
優勝:コバレンコ・コンスタンティン
2位:荒田昇毅
3位:エキモフ・マクシム
4位:ゴリウシキン・ダニル
5位:ゲセイノフ・ラシャド
6位:ボリアコフ・イリア
7位:谷川蒼哉
8位:トウセウ・アントニオ
敢闘賞:谷川蒼哉
技能賞:ボリアコフ・イリア
試割賞:ゴリウシキン・ダニル(25枚)
新人賞:田水春樹

歴代入賞者一覧(女子)

1996全国女子交流大会
1996年9月16日○京都市武道センター
優勝:江口美幸
2位:那須潤子
3位:守屋円
4位:渡邊雅子

1997全日本女子空手道選手権大会
1997年10月12日
○台東区リバーサイドスポーツセンター
優勝:江口美幸
2位:中村章子
3位:守屋円
4位:渡邊雅子

1998全日本女子空手道選手権大会
1998年9月27日
○台東区リバーサイドスポーツセンター
優勝:藤田典子
2位:岩井夏美
3位:村上知美
4位:原小夜子

2000全日本女子空手道選手権大会
2000年2月27日○代々木第二体育館
優勝:中村章子
2位:藤田典子
3位:岩井夏美
4位:原小夜子

2011全日本女子空手道選手権大会
2011年6月11日○大阪府立体育会館
優勝:田崎佑麻
2位:太田菜月
3位:中村綾乃
4位:田中千尋

2011世界女子空手道選手権大会
2011年11月3日○東京体育館
優勝:アナスタシア・クリノワ
2位:ジュリー・ラマー
3位:エレナ・ウォロビヨワ
4位:アンナ・カチンスカ

2012全日本女子空手道選手権大会
2012年8月26日○京都府立体育館
優勝:田崎佑麻
2位:島田慧巳
3位:田中千尋
4位:中村綾乃

2013全日本女子空手道選手権大会
2013年8月25日○京都府立体育館
優勝:横山友美
2位:田崎佑麻
3位:島田慧巳
4位:小田幸奈

2014全日本女子空手道選手権大会
2014年8月24日○京都府立体育館
優勝:田崎佑麻
2位:小田幸奈
3位:河原瑛里香
4位:横山友美

2015世界女子空手道選手権大会
2015年11月23日○東京体育館
優勝:ウリアナ・グレベンシコワ
2位:エレナ・グルコ
3位:田中千尋
4位:アナスタシア・クリノワ

2016全日本女子空手道選手権大会
2016年8月21日○京都府立体育館
優勝:永吉美優
2位:砂川貴蘭
3位:小田幸奈
4位:島田慧巳

2017全日本女子空手道選手権大会
2017年11月3日~4日○東京体育館
優勝:アナスタシア・カサノワ
2位:島田慧巳
3位:本村愛花
4位:小田幸奈

2018全日本女子空手道選手権大会
2018年10月27日~28日
○武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝:永吉美優
2位:佐藤七海
3位:アナスタシア・カサノワ
4位:イウリヤ・グリゴレワ

2019世界女子空手道選手権大会
2019年11月23日~24日
○武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝:永吉美優
2位:佐藤七海
3位:シャイネス・エルハイモワ
4位:アナスタシア・カサノワ
技能賞:シャイネス・エルハイモワ

2020全日本女子空手道選手権大会
2020年11月29日
○武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝:佐藤七海
2位:鵜沢菜南
3位:遠藤ひとみ
4位:山崎乙乃
敢闘賞:鵜沢菜南
技能賞:佐藤七海
新人賞:鵜沢菜南

2021全日本女子空手道選手権大会
2022年4月17日○東京体育館
優勝:佐藤七海
2位:八幡華菜
3位:山崎乙乃
4位:本村愛花
敢闘賞:宮本 神
新人賞:知念琉花

第54回全日本空手道選手権大会
2022年11月20日○東京体育館
優勝:鵜沢菜南
2位:佐藤七海
3位:知念琉花
4位:山崎乙乃
敢闘賞:知念琉花
技能賞:佐藤七海
新人賞:神田乙璃沙

第13回全世界空手道選手権大会
(第55回全日本大会を兼ねる)
2023年11月17日~19日○東京体育館
優勝:佐藤七海
2位:鵜沢菜南
3位:サベリナ・エリザベータ
4位:コズロワ・エカテリーナ
敢闘賞:カザリアン・アレクサンダー
技能賞:佐藤七海
若獅子賞:スペトロワ・アリーナ/イサ・マリナ
所 羽奈/森岡優海/小木戸琉奈

第56回全日本空手道選手権大会
2024年11月30日~12月1日○東京体育館
優勝:サベリナ・エリザベータ
2位:宮本 神
3位:ザソリナ・クセニア
4位:小城みなみ
新人賞:岡野結衣

大会規約／試合規則・I.K.O極真ルール

【審判基準】

審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。組手時間の規定時間は1試合につき3分（予選は2分）、延長戦は2分とする。ただし、必要と認めた場合は審判長の裁量により、あらためて時間を設定することもありうる。

大会進行は極力予定スケジュールに沿わせるが、やむをえない事態が起きた場合は、審判長・副審判長が協議の上、審判長が変更を指示することができる。審判長は大会進行に関し、大会審議委員会の意見を求めることができる。

【組手と勝敗】

- 組手は原則として1試合3分間（予選は2分）とする。延長戦は同じく2分間とする。
- 組手の勝者は、①一本勝ち、②技有り2本による合わせ一本勝ち、③判定勝ち、④相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち、により決定される。

【一本勝ち】

3. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間に決め、ダメージを受けた相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたときは一本勝ちとする。

【技有り】

- 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、ダメージを受けた相手選手が一時にダウンもしくは戦意を喪失し、3秒以内に立ち上がったとき、または、倒れはしないがダメージのためバランスを崩したときは技有りとする。
- クリーンヒットと残心：上段への蹴り（上段廻し蹴り、上段前蹴り、上段後ろ蹴り、上段後ろ廻し蹴り、上段膝蹴りなど）がクリーンヒットし、転倒やバランスを崩さなくとも、間合いを制しタイミング良く合いがけが伴う突きをして明確な残心を示せば技有りとする。
- 中段への蹴り（中段前蹴り、中段後ろ蹴りなど）がクリーンヒットし、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。

7. 自分の技（足掛け・足払い、相手の技にカウンターの下段蹴りなど）によって、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。

8. 相手の捨身技（胴廻し回転蹴りなど）をかわして、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。

9. 転倒した選手が、倒れた瞬間に防御及び反撃の為に即座に攻撃（下からの蹴り上げ、廻し蹴りなど）をすることは認められ、第3条または第4条の基準で技有りや一本勝ちも認められる。

10. 相手の有効技により負傷し、審判長の判断で治療が必要となった場合、相手選手に技有りが与えられた上で試合続行となる。

11. 技有りは、2つで一本勝ちとする。

※転倒：攻防の中で相手の技によって瞬間に体を奪われ、お尻・背中が床についた場合。または足の裏以外の部位が床に着き、死に体（したい）となり直ちに攻防が続けれられない状態になった場合。

※当て止め：ライトコンタクトによる明確な突き。ダメージを与えるフルコンタクトは反則。

※蹴りのクリーンヒット：ダメージのある技（第3条）にまでは至らしみないが、ある程度の威力・インパクトを伴う蹴り。

【判定】

12. 一本勝ちで決まらない場合は判定で決定する。

13. 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持を有効とする。

14. 判定基準は両選手の試合の流れを把握し、以下の基準を元に判定を下す。

①ダメージ：どちらがより相手にダメージを与えたか。

②有効打・防衛技術：どちらがより有効な技を相手に当てたか。どちらが防衛技術を用いて相手の攻撃を防ぎ、自分の攻撃に結びつけたか。ダメージが無いとしても相手の技に反応せず不用意に受け取るのは、試合判定のマイナス要因となる。

③積極性・試合態度：どちらが正確な技を積極的に攻め主導権を握っていたか。どちらが武道精神に則り相手を尊重して正々堂々とした試合態度であったか。

15. 減点1を与えた場合は、「技有り」を取った場合、判定に於いて「減点1」と「技有り」は相殺され、それ以外の内容で判定される。

減点1=技有り

16. 相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち。

【延長戦】

17. 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持がない場合は、引き分けとし、延長戦を行なう。

【体重・試割判定】

18. 延長戦を回り廻り返しても判定がつかない場合は、体重差と試割枚数で勝者を決する。体重差が10kg無い場合は試割枚数の多い選手を勝者とする。体重差が10kg無く試割枚数が同数の場合は、再度延長戦を行なって決める。体重差が10kg以上有り、試割枚数が同数、または軽い選手が多く割っている場合、軽い選手を勝者とする。体重差が10kg以上有り、重い選手が多く割っている場合、重い選手を勝者とする。

19. 相手の反則負けを2回以上有り、試割枚数が同数、または軽い選手が多く割っている場合、重い選手を勝者とする。

20. 判定には、悪質な場合を除き1度目で「注意1」、2度目が「注意2」、3度目が「減点1」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。

※反則により相手選手が負傷し、直

び胴体へ手掛けした場合。

⑦掴み：相手選手の道着、手足を掴んだ場合。ただし、相手選手の足払い（足掛け下段突き、中段蹴りを捌いての足払いなど）に対する防御のために道着を掴むことは反則とせず、口頭での指導にとどめる。（これらのケースは両者が掴んでいる場合が多く、特に掴みの反則を狙って仕掛けの相手の足払いに対する自衛の掴みについては反則を取らない）

⑧抱込み：相手選手の足や身体を抱えた場合。ただし、相手選手の足払い（足掛け下段突き、中段蹴りを捌いての足払いなど）に対する防御のために道着を抱えることは反則とせず、口頭での指導にとどめる。その際に首から上を抱え込むことは反則。また、双方共に相手選手を抱えたまま床に叩きつけてはならない。

⑨投げ：相手選手を投げた場合。

⑩顔面：首への押し：首から上への押し。

⑪連続しての押し：相手選手を連続して押した場合。

⑫抑え：相手選手を抑えた場合。

⑬密着：腕や胸を合わせて密着した場合。

⑭膠着：腕を合わせて、技術的な展開が3~5秒見られない膠着状態を繰り返した場合。

⑮消極性：明らかに消極的な態度で試合をした場合。

⑯掛け逃げ：技の掛け逃げを再三繰り返した場合。

⑰場外：自分から場外へ両足が出了た場合、及び戦意をなくして場外に出た場合は反則（注意1）とする。但し、攻防中に場外に出た場合は反則を取らない。

⑱主審の「止め」が掛かった後の攻撃。

⑲関節への攻撃：中足・足刀・カカトによる正面から膝関節への攻撃。

⑳不十分な礼：正しく立札をしない場合。

㉑着衣の乱れ：着衣が著しく乱れたまま試合を続いた場合。帯がほどけて床に落ちた場合。

㉒偽装：以下の場合、武道精神に悖る（もとも）行為として、注意・減点となる場合がある。

・相手の反則を装った場合（例：顔面殴打や金への攻撃を受けたと装う）

・負傷を誇張した場合

・自ら顔面殴打や金の攻撃などを誇った場合

㉓違反行為：ガッツポーズや床の踏み鳴らしなど禁止されている行為を行なった場合。

㉔審判がよくに反則とみなした場合。

㉕押し：瞬間的な単発の押しを認める。

㉖捌き：腕・足への瞬間的な捌きを認める。ただし、捻り・投げは反則。

㉗押し・捌き・足掛けの複合技：押し・捌き・足掛けを同時に使うこと

㉘が認められる。

21. 判定は、主審は2回以上、副審は3回以上で「注意1」、2度目が「注意2」、3度目が「減点1」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。

※反則により相手選手が負傷し、直

ちに試合続行が不可能で回復時間が必要となり、審判長がその反則が重大なものと判断した場合は、反則をした選手に2つ分の注意が与えられる。

【減点】

22. 次の場合は1度目でも減点1となる場合がある。

①悪質な反則を行った場合。

②審判の判断により、悪質な試合態度とみなされた場合。

【反則負け】

23. 次の場合は反則負けとする。

①減点2となった場合。減点2=反則負け

②反則により相手選手が負傷し、大会医師または医事委員が試合続行不可能と判断し、審判長が認めた場合。

【失格】

24. 正当な理由なくして試合を放棄したときは、弁償金を支払わなければならぬ。ただし、下記の場合は例外とする。

①大会医師または医事委員の診察を受け、試合続行不可能となった場合。

②大会直前または大会中に、本人に関係する不慮の事故（家族の不幸など）が発生し、審判長が協議の上、退場を許可した場合。

国際空手道連盟・試割規定

①試割の材料は、33cm×21cm、厚さ24cm（13インチ×8インチ、0.9インチ）の杉板を使用する。材質は国際空手道連盟の規格に合致したものとする。

②割った枚数によって点数を競うが同枚数の場合は、体重の軽い選手を優位とする。その際の有効体重差は原則として10kgとする。

③選手は試割に当たって、ブロックの台は、審判員・審議員の許可がない限り動かすことはできない。

④選手は試割に当たって、ブロックの台にはいっさく、触れてはならない。ただし、間合を計算すること、板の上に審判員・審議員の検査を受けた薄い布（手拭、タオル等）を敷くことはできる。また、足刀の際にブロックに足を掛け試技を行うことができる。

⑤指定した枚数が1回の試割で完全に割れない場合は「失敗」とし、得点にならない。

⑥「失敗」した場合は、再度試みるこ

とができるが、この場合は規定枚数の3枚とする。

⑦再度試みた試割に失敗した場合は、得点を0とする。

⑧試割は、固定したブロックを台として所定の位置で行う。ブロックの台は、審判員・審議員の許可がない限り動かすことはできない。

⑨選手は試割に当たって、ブロックの台、板にはいっさく、触れてはならない。ただし、間合を計算すること、板の上に審判員・審議員の検査を受けた薄い布（手拭、タオル等）を敷くことはできる。また、足刀の際にブロックに足を掛け試技を行うことができる。

⑩試割は、審判員の指示で行う。制限時間は2分とし、それを超えると失敗とみなす。

女子の体重・試割規定

準決勝以降の試合において延長戦を2回繰り返しても判定がつかない場合、両選手は直ちに体重測定と試割を行ない重差と試割枚数で勝敗を決する。

選手は任意の枚数（2枚以上）を1回のみ申告することができる。制限時間内（2分以内）に枚数を決め設置を完了させる。挑戦する枚数（3枚）以上であれば何枚でも指定できる。

⑤指定した枚数が1回の試割で完全に割れない場合は「失敗」とし、得点にならない。

⑥「失敗」した場合は、再度試みるこ

い選手を勝者とする。体重差が5kg無く試割枚数が同数の場合は再度延長戦を行なって決める。体重差が5kg以上有り、試割枚数が同数、または軽い選手が多く割っている場合、軽い選手を勝者とする。体重差が5kg以上有り、重い選手が多く割っている場合は、再度延長戦を行なって決める。

【試技順】

準決勝

①手刀

三位決定戦・決勝戦 ①猿臂

大会における肖像権について

1. 国際空手道連盟 極真会館（主催者）は、本大会の模様を動画撮影、写真撮影、録音等の方法により記録し、公開するほか、主催者及び主催者の指定する第三者により各種媒体（テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌、DVD等）において公開、利用することができる。

また、収録、公開される情報には、参加者の氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が含まれる可能性がある。

2. 参加者は本大会申し込みにより、氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が記録、公開及び利用されることに予め同意したものとし、主催者の自由な判断による記録、公開及び利用に関し、肖像権、プライバシー権、パブリシティ権、作品や成果物に関する著作人格権等を使用せず、また一切の対価を請求しないものとする。

【失格】

1. 試合規則「失格」に該当する場合は、主審は該当する選手に失格（手刀を斜め下に指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。

2. 失格の基準は、試合規則「失格」（第23条）を参照。

【試合終了】

1. 一本勝ち、反則負け、失格の場合、主審はただちに組手を止め、両選手を正面に礼、互いに礼を指示し、握手をさせ、退場させる。

2. 一本勝ち、反則負け、失格がない場合は、試合終了の合図とともに、逆側の選手の勝ちを宣言する。

3. 試合中の、一本勝ち、反則、反則負け、失格の指揮は、主審が該当する選手に反則負け（手刀を斜め下に指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。

4. 反則負けについては、試合規則「反則」（第19条）を参照。

【反則負け】

1. 減点2または試合規則「反則負け」に該当する場合は、主審は該当する選手に反則負け（手刀を斜め下に指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。

2. 反則負けの基準は、試合規則「反則負け」（第22条）を参照。

3. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

4. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

5. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

6. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

7. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

8. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

9. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

10. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

11. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

12. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

13. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

14. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

15. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

16. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

17. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

18. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

19. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

20. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

21. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

22. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

23. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

24. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

25. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

26. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

27. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

28. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

29. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

30. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

31. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

32. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

33. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

34. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

35. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

36. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

37. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

38. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

39. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

40. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

41. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

42. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

43. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

44. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

45. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

46. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

47. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

48. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

49. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

50. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

51. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

52. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

53. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

54. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

55. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

56. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

57. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

58. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

59. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

60. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

61. 一本勝ち、反則負け、失格を決定した上同様にする。

</

FREQUENTLY USED TECHNIQUES

試合の主な有効技



FOUL TECHNIQUES

試合の主な反則技



副審の旗による動作
Action of the Corner Judges

一本勝ち 旗を真上に上げる Ippon / Full Point & Decision-Winner Flag straight up	技有り 旗を真横に Wazaari / Half point Flag straight to the side	認めず 旗を交差させて振る Mizenu / No score Flag waving & crossing	見えず 旗を正面で交差 Mieu / Not see Flags crossed in front of the chest (Do not cover eyes)	反則 旗を上下に振る Hansoku / Foul Flag waving up & down	場外 旗で場外線を叩く Jogi / Out of bounds Flags tapping the ground	引き分け・中立 旗を交差させる Hikiwake / Decision-Draw Flags crossed
---	--	--	---	---	---	--

◎有効・反則技について
写真で説明している「有効技」と「反則技」は、あくまでも主な例であり、ここに示す全てではありません。
These techniques and fouls are only examples.

監修／横部清次（大会審判長）
演武／伊藤一惟（競技委員長）
総務干場（東京城西下北沢・町田支部長）

I.K.O. 審判資格者

I.K.O. Officiating License Holders List

2025年12月現在
as of 2025 December

※準副審判員は省略

◆審判委員会 (Officiating Committee)

審判長 (Committee Chairman)

磯部 清次 ISOBE SEIJI

副審判長 (Committee Vice Chairman)

ケニー ウーテンボガート KENNY UYTENBOGAARDT

山田 雅稔 YAMADA MASATOSHI

審議委員 (Committee Member)

河岡 博實 KAWAOKA HIROMI

川畠 幸一 KAWABATA KOICHI

浜井 良顕 HAMAI YOSHIAKI

スチュアート コリガル STUART CORRIGAL

◆特別審判員 (Executive Referee)

五来 克仁 GORAI KATSUHITO

福田 勇 FUKUDA ISAMU

八巻建志 YAMAKI KENJI

◆主審判員 (Referee)

赤石 誠

阿部 清文

伊藤 慎

入澤 群

小田 勝幸

鴨志田 裕寿

河岡 晶俊

川本 英児

菅野 秀行

木立 裕之

木山 仁

進 裕治

杉村 多一郎

田口 恭一

田中 隆昌

戸田 直志

橋爪 秀彦

羽田 シゲル

ホヴァニシアン アルトゥール

三村 政史

山口 進也

横山 誠

◆準主審判員 (Associate Referee)

青木 英憲

安島 喬平

足立 慎史

池田 祥規

石川 博栄

石黒 康之

石田 伸太

伊藤 和摩

今井 宏幸

岩田 厚

岡田 幸喜

隠岐 忠顕

柿沼 英明

加藤 瑞基

北本 久也

黒田 都士

毛塚 慎一

小坂 精作

佐々木 敏也

塩島 修

鈴木 雄三

瀬戸口 雅昭

田ヶ原 正文

竹石 修

谷口 正明

徳田 忠邦

戸田 廣康

中塚 信夫

仲間 博之

中村 章子

永田 太

西村 淳平

秦 貴典

初川 正彦

日比野 丈二

福田 達也

ホスロ ヤグビ

細野 由人

堀田 裕晴

本間 唯志

前川 克信

松永 敏

御子柴 直司

三村 忠司

三宅 義人

宮脇 英彰

村田 達也

森 善十朗

守友 完矢

◆公式審判員 (Judge)

青木 修

青木 慎二

東 博昭

荒井 茂

新井 敏雄

荒田 昇毅

荒玉 康夫

板橋 清隆

今西 登之彦

梅本 直

江口 美幸

江口 芳治

大谷 善次

岡田 祐樹

小沼 隆一

貝沼 廉多

垣内 翔

嘉藤 伸

加藤 雄作

香取 宏明

金久保 典幸

鎌田 翔平

鴨志田 洋幸

川村 剛宏

川村 龍馬

菊地 修

北川 宗裕

久保 則之

久保 英和

倉島 博

栗原 直樹

吳 昌紀

高武 慎之介

小坂 武史

小林 節

小林 龍太

桜沢 昌一

桜沢 正大

澤田 乃基

宍倉 一太郎

島田 好己

白川 明美

白川 彰一

白川 慎之助

真鍋 宏二郎

鈴木 悅子

鈴木 由一

高井 康弘

高崎 秀之

高根 祥郎

竹岡 拓哉

田崎 佑麻

田中 勢二郎

田中 正信

田邊 英明

谷口 拓也

田原 一樹

塚原 典寿

津田 久義

徳田 寛大

戸谷 謙介

中 淳一

中辻 惟時

西尾 大輝

沼尾 陽司

根本 清志

羽田 和美

林 芳彦

馬場 武

比嘉 幸治

樋口 恵士

日野 正人

平尾 敏也

福井 裕樹

福森 堅仁

藤野 尊秀

古城 忠

堀内 徳浩

舛谷 謙人

松村 典雄

三角 裕隆

水晶 秀樹

三井 良介

宮崎 昌浩

本村 愛花

八木 一貴

安川 千鶴

矢部 剛

薮井 祐也

山上 博文

山添 雅史

由木 克宜

吉田 浩一

鈴木 康之

相澤 孝次

相見 秀樹

青木 海

青木 孝貢

青木 宏至

青柳 香菜美

青山 優衣

明石 浩太

秋元 英公子

秋本 勝宏

秋元 結奈

秋山 治

梶山 和斗

秋山 俊太郎

阿久津 典子

阿久津 実希

阿久津 怜音

明日 勝昌

浅井 清志

朝井 清

浅川 好子

浅田 和義

浅田 潤

浅沼 明美

朝日 浩司

阿座上 圭

阿曾 健太郎

阿曾 芳樹

安達 努

熱海 完児

阿部 修一

安部 貴史

阿部 司

阿部 仁士

阿部 広樹

阿部 二三夫

阿部 勝

阿部 有騎

阿部 ゆり子

阿部 良平

天沼 優望

天野 朝之

アミール バクシ

荒井 厚志

荒井 瑞生

新井 安行

荒井 裕志

荒川 瑞希

荒川 善幸

荒木 聰

荒野 竜司

荒屋 秀樹

有田 晃之

安藤 和宏

安藤 公敬

安藤 誠一

安藤 ノボル

安藤 増実

安藤 義人

飯島 信二

飯島 昌宏

飯島 由久

飯田 一義

飯田 貴

飯塚 健太郎

飯塚 茂幸

飯塚 努

飯塚 翼

飯塚 光

飯塚 博之

飯塚 直人

飯山 勝彦

井川 貴順

五十嵐 洋介

井口 成人

池上 采那

池嶋 傑

池尻 俊哉

池田 歩実

池田 孝徳

池田 美穂

池田 心結

池田 康之

池田 喜紀

池田 亮太

池村 陵弥

池本 哲治

生駒 大

伊佐治 和雄

石井 昌二

石井 鉄也

石井 博裕

石井 百花

岡村 拓也 美奈織代
岡村 美香 織代
岡本 香織
岡本 早義
岡本 敬英
岡山 瑛瑛
緒方 隆明
尾形 忠由
尾形 香織
小川 啓明
小川 公連
小川 紫蓮
小川 武之
小川 識
小川 亮
隱岐 江利子
隱岐 泰子
荻野 太陽
荻野 太陽
奥 陵史
奥 貴光
奥 直樹
奥原 幸雅
小椋 洋石
長田 誠
小山内 奈々美
長内 保乃楓
長内 雅人
尾崎 迅
尾崎 太一
尾崎 直人
尾崎 亮
尾崎 剛
小沢 正廣
押尾 章治
押保 彦廣
小田 昌平
小田 幸奈
落合 一也
小月 寿倫
小野 誠司
小野 孝
小野 龍也
小野瀬 陽絵
小野瀬 雄次
小野山 博
尾原 章正
小幡 匡志
小原 滋規
尾亦 勇治
尾本 和哉
折戸 法子
織茂 崔子
加賀 建弘
加來 千明
角谷 茂
覧 誉
梯 智文
景山 仁志
笠原 ベルト
樺村 方建
柏木 宏之
鍛治 清和
樺原 悅生
樺本 曜二
神代 順子
加瀬 翔梧
加勢 貴英
加瀬 英明
加瀬 泽正義
片岡 浩司

片桐 杏未
片桐 一郎
片平 洋一郎
片山 雄登
片山 義幸
片山 幸久
片勝 美美
葛田 熱
勝野 隆
勝間 正人
加藤 敦
加藤 昂
加藤 真
加藤 雅
加藤 祐
加藤 竜
加藤 成
門井 敦
角入 敦
金井 亮
金井 司
金瀬 邦彦
金津 亜美
金丸 泰美
金川 貴已
金子 賢一郎
金子 賢介
金子 賢郎
金子 虎太郎
金子 智一郎
金子 洋文
金子 由依
金子 祐一郎
金子 雄大
金島 隆
金田 聖子
金田 成次
金田 貴裕
兼久 啓太朗
釜村 穀
上岡 晃
上神田 克真
神里 巍
上條 幸夫
神長 崇之
上村 貴志
神谷 和宏
神谷 哲也
神谷 幸尚
神谷 竜彦
加茂 顕彦
萱野 知美
萱野 英明
萱野 勝利
假屋 風太
輕部 紀
河合 優
河合 良樹
河岡 茉奈
川上 美之
川上 裕
川口 武
川口 文宏
川蓄 雅央
川島 賢治
川島 徹也
川瀬 健太郎
河田 康照
川田 樹
川名 茂隆
川名 倫明
川並 莉司
河野 麻美

川野 裕介
川端 翔
川端 理恵
河辺 博之
川向 智則
川村 哲
川本 正
川本 真也
河本 淳二
河元 長朗
甲谷 誠
菅家 誠也
神崎 凌
神沢 弥寿成
寒竹 慎一
神田 治明
神取 迅人
閑野 勇
菅野 勝志
神野 勉
菅野 浩
菅野 茂
菅野 森人
蒲生 直樹
菊池 崇悟
喜岸 香由
岸 悅夫
岸 敏博
岸 秀幸
岸本 幸
北畠 正寛
北村 伸祐
北村 健文
北村 伸宏
北村 隆士
木立 大雄
吉川 保行
木之内 碧斗
木下 跳右
木原 哲也
木町 讓
金 慶浩
木村 建哉
木村 宣章
木村 哲也
木村 雅彦
木村 雅代
木村 由佳
帰山 宗久
京極 重幸
桐澤 智和
草薙 智史
工藤 国光
工藤 淳也
工藤 孝雅
工藤 拓朗
工藤 善美
國澤 信頼
国広 竜治
久保 栄
久保 聰美
久保田 明
熊谷 剛次
熊木 純
神代 慎一
倉成 誠也

倉野 水杉
鞍橋 俊範
鞍橋 渉
倉持 潤
藏元 志叙
栗田 光春
栗原 駿
栗原 光
栗原 麻友子
栗原 康行
吳 龍太郎
黒岩 幹也
黒岩 丈介
黒川 和弥
黒沢 茂弘
黒沢 陸
黒田 茂夫
黒田 哲也
黒田 凌
桑野 雄介
桑原 伸也
桑原 良明
ケル きりん
ケル ピーター
小網 嘉明
小池 いづみ
小池 潤一郎
小泉 啓次朗
小泉 直也
小出 雅之
香原 博
小枝 怜生
古賀 秀哉
小木戸 瑛斗
輿石 英明
越川 一美
小島 延斗
小島 弘樹
児島 司
小島 智秀
小城 みなみ
小杉 圭太
小竹 真樹
小谷 郁佳
小谷 夢加
児玉 蓮
小坪 功昌
小寺 英志
小西 英人
小西 祐範
小西 勇司
小沼 淳
小早川 徹也
小林 英治
小林 久美子
小林 賢悟
小林 健人
小林 重朝
小林 慎一
小林 壮大
小林 超
小林 鉄馬
小林 哲也
小林 英男
小林 浩己
小林 浩樹
小林 真
小林 ゆうき
小林 幸男
小林 陽子

小林 佳彦
小林 竜
コバルンコ コンスタンティン
駒澤 剛
小峰 知己
小峠 寛丈
小峰 政夫
小向 聰
小室 宗一
古谷 竜一
小柳 佑太
小山 秀勇
小山 正次
小山 真史
小山 隆
小山 誠
是枝 秀朋
今 貴洋
近 光流
今 道夫
近藤 哲
近藤 勝矢
近藤 壮一郎
近藤 太郎
近藤 機
近藤 博和
金野 有汰
金野 佳子
郷田 正勝
後藤 勝巧
後藤 邦之
後藤 昇一
後藤 敏之
後藤 風磨
後藤 元康
後藤 力
五味 仁
権藤 大樹
崔 哲樹
西條 良香
齊田 博嗣
齋藤 信一
齊藤 聖汰
斎藤 大助
斎藤 稔彦
斎藤 智信
斎藤 壽一
齊藤 大輝
斎藤 浩幸
斎藤 史哉
斎藤 充広
斎藤 幸弘
斎藤 麗奈
佐伯 緑
酒井 一雄
坂井 克司
境 健一
酒井 健爾
酒井 貴大
栄井 大喜
境 敏昭
酒井 久雄
酒井 康雄
境野 泰資
坂上 守昌
坂尾 淳
柳 洋子
柳原 英樹
坂田 正
坂本 賢治

坂本 光一
坂本 妙子
坂本 忠一
坂本 剛
坂本 康裕
坂本 佑太郎
佐川 司
作田 豊
佐久間 健一
佐久間 崇仁
佐久間 信行
佐久間 大典
櫻井 昭太
櫻井 ひより
櫻井 幹雄
櫻田 文子
櫻田 英策
櫻田 心太郎
櫻田 まどか
櫻本 海斗
佐々木 一壽
佐々木 謙太
佐々木 仁一
佐々木 信尚
佐々木 一
佐々木 弘記
佐々木 文夫
佐々木 蓮太
笛沼 喜美男
佐田 宏喜
佐藤 晃
佐藤 一也
佐藤 勝政
佐藤 恭子
佐藤 清伯
佐藤 恵一
佐藤 行
佐藤 拓海
佐藤 穀
佐藤 岳仁
佐藤 竜也
佐藤 達也
佐藤 大樹
佐藤 七海
佐藤 伸久
佐藤 正博
佐藤 由芽
佐藤 友亮
佐藤 優祐
佐藤 豊
佐藤 涼
佐野 忠輝
佐野 博文
佐保 淳一
澤地 治
澤田 淳
澤田 達彦
澤田 達也
澤館 正道
澤登 智子
澤村 海詠
澤村 勇太
山海 敏弘
三瓶 昭浩
財満 啓次郎
椎名 貴之
椎橋 清一
シェック ルットフォー ラハマン
塩崎 快翔
潮崎 泰

塩路 裕
塩田 亮
塩谷 亘
塩田 博
塩月 直樹
志田 晃
志太 勤
篠崎 苍翼
篠田 雅久
篠原 かほる
篠原 基樹
篠原 亮平
柴倉 愛弥
柴倉 好美
柴田 明
渋 泰規
渋谷 明宏
渋谷 賢一
渋谷 誠哉
島 英輔
島崎 均
島崎 比呂希
島田 景虎
島田 和生
島田 松三
島田 政一
島田 芳隆
島野 啓士
島村 三男
清水 浩一
清水 巧
清水 智之
清水 祐貴
志村 敏夫
志村 優斗
下拂 千佐
下拂 大仁
下村 一貴
下山 統久
謝花 孝之
社本 篤
東海林 博文
庄田 典弘
正田 弘幸
白石 浩司
白石 直久
白岩 康夫
白川 哲也
白濱 淳
申玄拓
新海 義博
新川 竜平
上所 孝広
神 晋
神 吴
末田 正幸
末吉 光太郎
末吉 重仁
菅 彩紅
菅 充
菅 羅桜
菅井 純
菅井 芽巳
菅波 彩乃
菅波 まこと
菅波 里穂
菅野 雅史
菅原 建徳
菅原 晋

菅原 弘喜
菅原 賢一
菅原 秀幸
杉浦 一
杉江 照幸
杉島 直樹
杉原 正浩
杉本 麻子
杉山 德
杉山 肇
杉山 史紘
杉山 将潤
鈴木 正彦
鈴木 花菜
鈴木 哉啓
鈴木 浩一郎
鈴木 こころ
鈴木 茂
鈴木 獅沫
鈴木 修司
鈴木 俊司
鈴木 潤
鈴木 隆之
鈴木 拓
鈴木 武彦
鈴木 俊之
鈴木 奈央子
鈴木 伸幸
鈴木 英夫
鈴木 正弘
鈴木 雅祥
鈴木 康雄
鈴木 悠介
鈴木 良太
鈴木 煉真
壽田 透
須田 征士
須藤 美砂子
首藤 優
強矢 港
隅内 政憲
角倉 剛
スミス ウエイン
角田 好彦
酢谷 隆弘
スルジヤワン インドリヤニ
諫訪 海椰
清家 晃一
妹尾 巍也
瀬川 拓也
閑 鳴世
閑 幸彦
閑 芳武
閑 利恵子
閑根 康太
閑谷 賴輝
瀬戸 哲男
瀬戸 英明
瀬戸口 秀作
瀬ノ上 雅行
千德 尚
全 康一
早田 有寿
相馬 真太
相馬 悠人
十河 昌司
曾根 五月

園部 容弘
祖父 江宏至
高井 久恵
高井 博良
高尾 良彦
高木 研治
高木 信
高木 大地
高木 売恒
高木 稔
高木 美帆
高木 康行
高坂 直一
高崎 純一
高澤 丈生
高瀬 雅人
高瀬 晃次
高瀬 弘将
高田 奏
高田 悠一郎
高田 朝磨
高田 謙一郎
高田 祥彦
高根 敏郎
高根 晋一
高野 雄
高野 昭仁
高野 昭
高橋 和人
高橋 健太郎
高橋 晋一
高橋 恒治
高橋 幸代
高橋 誠治
高橋 大
高橋 伸明
高橋 洪
高橋 博秀
高橋 円香
高橋 美帆
高橋 芽依
高橋 ゆかり
高橋 良樹
高橋 佳大
高橋 良佑
高橋 成明
高橋 芳幸
高村 秋翔
高村 慶介
高本 真奈
高山 ひなた
高山 恵
瀧ヶ崎 美穂
瀧澤 正之
瀧田 康一郎
田口 創太
田口 英典
田口 義文
田口 新彦
武井 昌彦
武井 和史
竹内 康二
竹内 繁広

竹内 拓
竹澤 良司
竹澤 蓮
竹下 真介
竹下 泰司
武田 健太
竹田 大介
竹田 剛
武田 裕二
武藤 信也
竹仲 弘治
竹岡 理央
竹本 勝行
武本 晃矢
武元 悟
竹本 孝徳
武山 崇
多胡 圭介
田代 直美
多造 正信
多田 将太朗
多田 拓弥
立川 誠治
田附 晓嗣
立石 勝秀
立箱 由佳
田中 愛琉
田中 郁
田中 克昌
田中 規世
田中 清親
田中 宏一
田中 聰
田中 誠司
田中 壮馬
田中 隆生
田中 孝幸
田中 千尋
田中 俊彦
田中 伴明
田中 直人
田中 信夫
田中 輝
田中 秀仁
田中 洋行
田中 稔
田中 康弘
田邊 里砂
谷 瑞生
谷池 精華
谷川 蒼哉
谷川 友美
谷口 治
谷口 竜介
谷本 晋一
谷本 剛
谷和 令
種 芳洋
種家 溫人
種村 政浩
田原 実
田渕 淳司
田巻 敏之
玉田 昌也
玉津 義伸
田水 春樹
田宮 崇
田村 絵梨子
田村 勇次
為本 清雄

田谷 真人
田山 英明
田山 侑希
丹 美穂
伊達 正
知久 定司
知念 琉花
千野 暁輝
千葉 英明
千葉 実波
千葉 祐次郎
千葉 廉太郎
千村 英晃
トランティアイントゥエット
丁田 政二郎
長戸 来夢
築山 三枝
筑波 秀男
辻 耕司
辻 辰男
辻 好信
津田 和久
津田 成則
土谷 一郎
土屋 香織
土屋 建太
土屋 大
筒井 隼太
筒井 順治
堤田 真矢
常川 淳
恒川 優司
坪内 嘉次
津村 雅史
津山 晃浩
鶴 泰治
鶴田 丈
鶴原 学
鶴見 達夫
鶴見 真義
鉄尾 猛司
鉄本 露
鉄本 潤
手塚 烈王
寺崎 雅人
寺島 清二
寺田 勝人
寺峯 悠人
寺峯 勝治
出口 佳代
出口 隼人
出口 正人
當間 義朗
當銘 将司
遠山 裕明
徳田 茄麗
徳永 徹朗
戸口 茂司
年野 昌幸
戸谷 昌弘
戸田 昌江
柄澤 大介
戸塚 謙
富岡 新吾
富澤 俊悦
富澤 文彦
富澤 真優
富田 大介
富田 英樹

富永 恵吾
富永 里実
友田 一博
土井 清隆
土肥 渉
道堂 広大
土橋 芳孝
内藤 茂敏
内藤 貴之
内藤 博道
内藤 昌之
内藤 玲奈
中尾 広延
中岡 京介
中川 充
中川 僚
中川 英貴
千徳 美登里
仲川 耶真人
中込 達哉
仲沢 欣規
中島 正二
中島 寛高
中島 レベッカ
中島 伸
中島 純次
中島 季央
中島 盛雄
中城 穀
中水流 嘉臣
中曾根 和男
中谷 考志
中田 功章
中達 太郎
中坪 美実
中坪 由
中西 大志
仲野 創一
中野 哲弥
中野 雄太
中野 陽一
中橋 光二
中原 慎一郎
中又 正
中町 裕子
中水 正人
中村 彩乃
中村 廉太郎
中村 健太
中村 玄也
中村 聰
中村 俊介
中村 樹慧
中村 淳一
中村 武博
中村 直樹
中村 尚美雄
中村 典雄
中村 比呂志
中村 行央
中本 洋路
中森 和寿
中森 哲也
中山 翔太
中山 慎太郎
中山 浩巳
永井 宏治
永井 哲也
長石 康俊
長尾 哲
トランティアイントゥエット

長岡 秀一
長岡 史善
長崎 健一
長沢 紋奈
長澤 衛
長澤 広和
長澤 龍馬
長澤 昭二
長島 新
永田 拳也
長田 聰也
永田 真也
永田 大祐
長妻 和成
長繩 大樹
長原 士郎
長屋 哲雄
長屋 俊輝
名郷根 幸枝
那須 晶
名手 賢治
鍋田 良寛
浪越 孝
波間 友美
中島 レベッカ
中島 伸
中島 純次
中島 季央
中島 盛雄
中城 穀
中水流 嘉臣
中曾根 和男
中谷 考志
中田 功章
中達 太郎
中坪 美実
中坪 由
中西 大志
仲野 創一
中野 哲弥
中野 雄太
中野 陽一
中橋 光二
中原 慎一郎
中又 正
中町 裕子
中水 正人
中村 彩乃
中村 廉太郎
中村 健太
中村 玄也
中村 聰
中村 俊介
中村 樹慧
中村 淳一
中村 武博
中村 直樹
中村 尚美雄
中村 典雄
中村 比呂志
中村 行央
中本 洋路
中森 和寿
中森 哲也
中山 翔太
中山 慎太郎
中山 浩巳
永井 宏治
永井 哲也
長石 康俊
長尾 哲
トランティアイントゥエット

野村 彰紀
野村 勝善
野村 健
野村 智之
萩原 小百合
萩原 規善
萩原 洋介
萩原 康実
葉倉 陽彦
橋田 二朗
橋詰 雄一
橋場 泰志
橋場 秀哉
橋村 亜美
橋本 浩司
橋本 正憲
橋本 雅彦
橋本 竜
柱 武志
蓮井 竜二
長谷川 拓司
長谷川 千佳子
長谷川 聖拳
羽田 皇喜
旗手 浩
畠中 実
畠中 陽介
八谷 隆晴
八田 安章
羽藤 精一
花井 祐樹
花倉 孝典
花田 真理子
花田 直樹
英智雄
埴生 志朗
羽生 大輔
濱岡 秀星
濱田 均
濱田 和己
濱野 恭嗣
濱田 広一
早川 晃司
早川 久満
林 和夫
林 圭一
林 孝一
林 滋
林 修司
林 昌広
林 祐希
林 行彦
林 仁宏
羽山 進
原 敬一
原 口敦
原田 聰一郎
原田 優明
原田 浩之
原田 祐光
原田 光至
原田 歩
張田 輝子
張田 智博
馬場 和博
馬場 慎之助
馬場 ジャクリーンコルテス
馬場 久剛

バリ モディアマドゥウリイ
伴 和徳
パリアット スネラタ
樋川 辰彦
檜垣 薫
桧垣 賢児
東 健太郎
東 託也
東 浩吉夫
樋口 克也
樋口 知春
樋口 陽太
齊 孝晴
齊 勇晴
日向 孝史
日向 貴彦
平岩 皓太
平岡 和彦
平沢 拓巳
平瀬 滋隆
平田 ギリエルメ
平田 寿正
平塚 洋司
平野 豊一
平野 匠志
平野 裕士
平橋 幸樹
平松 幸樹
平本 尚樹
平山 高志
蛭田 倫
廣澤 倫
廣瀬 倫
廣田 倫
廣橋 倫
廣畑 倫
尾藤 勇
深津 琦
深野 実
深水 邦彦
福岡 久晴
福岡 昌浩
福島 沙織
福島 康之
福島 薫
福田 大樹
福田 靖
福永 葵
福原 邦展
福本 誠淳
房野 浩二
伏井 輝
藤岡 韶子
藤岡 隆
藤岡 猛
藤川 靖
藤倉 照章
藤崎 康成
藤嶋 晶子
藤田 久和

藤田 周
藤田 忠幸
藤田 珀斗
藤田 温
藤田 英浩
藤田 正幸
藤塚 恵勝
藤野 清一
藤野 智
藤原 幸栄
藤巻 崇
藤本 彰虎
藤本 彰
藤本 正樹
藤本 美桜
藤本 玲子
藤原 清吾
藤原 将
藤原 未奈子
渾脇 猛
船見 純也
古井 貴
古池 真
古川 克昇
布留川 清一
古川 晴也
古川 莉紗
古澤 壇一
古本 武志
古谷 茂雄
古谷 武久
日置 正恵
別府 達朗
辨天 朋大
保谷 浩正
外堀 徹雄
星 加代子
星 三千代
星野 珠璃
星野 龍太
細井 龍
細木 風人
細木 宏昌
細野 恵未
細野 智有
細谷 洋
堀田 知示
堀 哲也
堀 稔明
堀 雄次
堀井 浩
堀尾 大治郎
本田 昭裕
本多 竜也
本多 将俊
本間 太
前川 生向
前川 恵梨
前川 貴和女
前川 早苗
前川 英隆
前島 朋和
前島 康夫
前角 俊成
前田 誠
前波 和幸
蒔苗 宏之
牧野 晓大
牧野 匡男
牧本 朱生

幕内 文亮
正木 貴行
増子 秀一郎
間島 浩一
増井 義明
増田 千敬
増田 和之
益田 高之
増田 丈海
舛田 哲郎
増田 直紀
益原 直也
増原 雄司
舛谷 真生
町田 佐知子
松井 穀
松井 誠
松井 誠
松浦 章浩
松浦 博孝
松尾 明憲
松尾 寧音
松尾 博通
松岡 吉茂
松川 徹
松崎 泰之
松澤 佐知子
松澤 彰哉
松下 史久
松柴 義人
松島 雄
松竹 光男
松田 和明
松田 猛
松田 昌恵
松田 由貴子
松丸 二郎
松村 理沙
松本 浩一
松本 晃征
松本 真太朗
松本 誠二
松本 孝之
松本 博
松本 文昭
松本 瑞
松山 健一
松山 謙八
真辺 英二
真野 知之
丸山 正徳
丸山 勝
圓山 康則
三浦 薫
三浦 薫
三浦 涼音
三浦 英伸
三浦 弘之
三浦 大夢
三浦 昌義
三浦 怜士
三ヶ野 弘二
三上 孝志
三上 穀
三上 英男
三川 裕志
三木 浩
三木 護
三木 渉
水木 郁応

水越 輝幸
水嶋 潤
水島 熱
水島 英宣
水野 淳成
水野 隆央
水野 秀行
水間 輝敏
水見 隼
水本 丞
溝内 徹
溝口 宣之
溝口 秀樹
溝口 祥史
三田 真弘
三谷 治
三谷 哲
光富 大貴
翠川 玄洋
緑川 祥子
皆川 朋輝
湊 敏明
南 健太郎
三根 大介
三原 一真
宮垣 正浩
宮川 いさむ
宮城 さつき
宮城 駿一朗
宮城 優二朗
三宅 講太朗
三宅 淳也
宮崎 淳平
宮崎 信之
宮崎 弘文
宮崎 雄太
宮澤 清一
宮澤 真成
宮地 聰太郎
宮地 ちひろ
宮成 千晶
三山 元彦
宮村 宗和
宮本 彰
宮本 健一
宮本 憲治
宮本 神
宮本 陽果
宮本 裕美
向川 裕貴
武藤 和志
宗石 康英
村岡 賢和
村上 豪
村上 孝博
村上 誠
村上 昌志
村上 吉秀
村木 典人
村瀬 かおる
村田 溫志
村太 厚志
村田 和俊
村田 真理子
無留井 洋貴
目時 英昭

メルニコワ イリーナ
モイセエフ セルゲイ
茂木 仁史
望月 豪太郎
元木 和弘
本橋 琴実
本橋 正道
本橋 義也
本山 詩織
本山 久司
百生 陽純
桃原 梨璃伽
森 晃二
森 真二
森 誠司
森 天斗
森 弘樹子
森 弘子
森 広
森 博文樹
森 真樹
森 義和
森澤 茂義
盛實 賢俊
森田 晃一
森田 浩一
森田 宗夫
森田 謙
森竹 怜
森竹 忍
森本 清
森谷 清
森山 雅
諸川 雅
門崎 繁
門間 繁
矢内 克
八木 厚
八木 隆
八木 明
柳下 一
八木沼 正
八代 健
八代 美
矢城 優
安川 海
矢菅 靖
安田 拓
安田 俊
安田 正
安留 里
安西 俊
柳田 惠
矢野 進
矢能 学
八幡 華
矢端 都
矢彦 沢
矢彦 沢
敷崎 右
矢部 貴
矢部 真
矢部 美
矢部 民
山内 真
山浦 真
山川 竜
山川 知

山上 大輝
山岸 凱
山岸 寿悦
山岸 隆
山際 大志郎
山口 麻雄
山口 篤史
山口 桜
山口 貴弘
山口 登夢
山口 政登
山口 祐司
山崎 隆
山崎 晴弘
山崎 乙乃
山崎 信介
山崎 哲也
山崎 利行
山崎 博文郎
山崎 竜太郎
山下 翔大
山下 鉄雄
山下 博明
山下 竜二
山城屋 義明
山路 洋平
山田 洋明
山田 泉
山田 健吾
山田 繁樹
山田 心優一
山田 太樹
山田 喜一
山田 浩人
山田 稔
山田 幸登
山田 芳明
山田 涉
大和屋 昌亮
山中 洋一
山根 栄治
山根 好弘
山根 龍一
山野 博久
山野 浩英
山之内 駿
山村 康裕
山本 誠
山本 一樹
山本 一統
山本 航暉
山本 晃多
山本 二
山本 慎也
山本 哲也
山本 優
山本 直緒
山本 元
山本 新市
山本 雅樹
山本 雪野
山本 喜明
山本 武彦
山本 弓中
山本 湯山
山本 和洋
横尾 早智

横尾 博和
横田 誠二
横山 勝修
横山 敬洋
横山 愛史
吉岡 宗美
吉井 可菜
吉川 啓一
吉川 悠努
吉川 成篤
吉川 耕一
吉田 大峨
吉田 龍也
吉田 勤人
吉田 隼寿
吉田 博文
吉野 美紀
芳野 浩司
吉村 康仁
吉本 直人
米倉 由佳
米沢 正克
米田 補子
米山 豊貴
李 花子
李 権允
李 武志
利光 泰直
林 秉天

ルベシ クマ ダンゴル
ルモワンヌ ファビアン
若梅 政司
若杉 風香
若林 総司
若松 太勝子
脇山 洋志
渡邊 敦斗
渡邊 宰輔
渡邊 仁夫
渡邊 能行
渡邊 美裕
綿渡 駿
和田 行祐
和田 桂寿
和田 流生
和田 政美
和田 義史

KYOKUSHIN NEW ITEM

2026 WINTER I.K.O. KYOKUSHINKAIKAN ORIGINAL NEW T-SHIRTS & HOODIE & GOODS

■ TA-17 白 ¥4,400 (税込) size 130・150・S・M・L・XL

■ TA-17 黒 ¥4,400 (税込) size 130・150・S・M・L・XL

■ 一撃ハーフパンツ ¥5,940 (税込) size S・M・L・XL

■ 極真トレーニングパンツ ¥4,290 (税込) size S・M・L・XL・XXL

■ ダンボールニットパーカー ¥9,900 (税込) size S・M・L・XL

■ 極真サイドTシャツ 白/黒 各¥4,400 (税込) size 150・S・M・L・XL

■ 極真サイドTシャツ ダークブラウン ¥4,400 (税込) size 150・S・M・L・XL

■ 一撃オリジナルリカバリーTシャツ 黒 ¥6,930 (税込) size S・M・L・XL・XXL

■ 一撃オリジナルリカバリーTシャツ 白 ¥6,930 (税込) size S・M・L・XL・XXL

■ 極真オリジナル帆布ボストンバッグ ブラウン/ブルーグレー 各¥19,800 (税込) size w.56cm×h.31cm 容量:約40L

■ 一道一念Tシャツ バーガンディ ¥4,400 (税込) size 130・150・S・M・L・XL

■ 一道一念Tシャツ 黒/白 各¥4,400 (税込) size 130・150・S・M・L・XL

■ 真極バスタオル ¥3,850 (税込) size w.120cm×h.60cm

■ 一撃キックミット ¥6,600 (税込)

■ KYOKUSHINノート 各¥660 (税込) color 白/黒/青 size w.105mm×h.150mm 80頁

■ ステッカー「きわむくん」 ¥1,100 (税込) size w.210mm×h.150mm

■ I.K.O.JAPANマフラータオル ¥2,750 (税込) size w.115cm×h.20cm

■ KYOKUSHIN KARATE 真極

■ KYOKUSHIN KARATE 真極

■ 真極ジャガードマフラータオル (赤) (きわむくん) 各¥2,750 (税込) size w.110cm×h.20cm

■ 真極 ステンレスボトル ¥4,400 (税込) 容量1000ml

■ FRIXIONボールペン (極真会) 各¥1,000 (税込) color 黒/パステルブルー/パステルピンク

※在庫有りの商品も欠品、販売終了になる場合がございます。また予告なく価格が変更になる場合がございます。詳しくは「一撃オフィシャルショップ」HPをご覧ください。

ICHIGEKI OFFICIAL SHOP TEL.0120-512-182 FAX.0120-512-184

<https://www.ichigeki-officialshop.com/>



～ 極真会館へ入門をしたら～

会員登録

- ◆道場生は入門手続きと同時に、極真会館基幹システムIKOポータルに必要事項を入力し極真会館総本部に登録を行なうと同時に年会費の決済を行なっていただきます。
- ◆会員登録の詳細についてはIKOポータル確認画面(会員登録に関する重要事項)を確認し同意して頂くことになります。
- ◆会員登録は基本的には、入門時に道場で入力して頂きます。
- ◆登録完了後は、会員マイページにログインすることで登録状況の確認・変更が行なえます。
- ◆登録完了の時点で稽古に出席ができます。



※会員登録は極真会館の道場生全員が行なうことになっています。昇級審査の受審や試合出場の直前に行なうものではなく、入門と同時に行なって頂くものです。

既存の会員の方へ

IKOポータルへの登録切替 (切り替ることで何が変わるか?)

現在の登録されている情報をIKOポータルへの登録切替することで

- ◆各種情報の変更の届け出が会員ご本人のパソコンなどで行なえるようになりました。
- ◆お手持ちのクレジットカードで年会費・メディカルサポート加入費のお支払いが可能となりました(クレジットカードの発行申込が必要ありません)。
- ◆会員マイページへログインすることで登録状況の確認が可能となりました。



<https://www.memberregistration.net/user-auths/login>

IKOポータルへ切り替えていない会員の方

～こんな時は、必ずお知らせください～



こんな時【その1】 引越しをしたら…

住所変更届の要領に従って必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。



こんな時【その4】 退会しようと思ったら…

○退会希望の場合は、年会費引き落としの40日前までに、ご本人・決済者が会員管理部に必ず電話連絡のうえ、総本部発行の会員証を所属支部へ返却していただくか、会員管理部へご返送ください。

○確認のため、生年月日、住所などをおたずねすることがございます。相違する場合はお受けできない可能性もあります。

○退会の際は、必ず所属支部にも連絡してください。月会費の停止などは、会員管理部では行なっておりません。

○引き落しの前には請求書・振替の案内をお送りしますが、その確認後に退会連絡をいただいても、「年会費は翌年」、「月会費は翌月」からの引き落とし中止となります。

○退会届の受付後、取り消しは原則的に行なえません。退会後の入門には、再度、入門料・年会費が必要となりますので、よくご検討のうえ、ご連絡をお願いいたします。

○会員本人または会費決済者が諸手続きを行なわなかった場合、納入された年会費・月会費の返金は一切行ないません。翌年・翌月からの引き落とし中止となります。

○退会希望の届けがない限り、毎年一回カード決済または口座振替により年会費は引き落としされ、登録は継続されます。本会より退会確認の連絡は行ないませんので、あらかじめご了承ください。

こんな時【その2】 口座を変更したら…

会員管理部へご連絡ください。



こんな時【その3】 会員カードをなくしたら…

会員管理部へご連絡ください。



こんな時【その他】

●道場の休会 ●他支部への移籍 ●合宿・昇級審査など
ご不明な点は、各所属支部道場におたずねください。

住所変更届

※会員登録に関する変更届は、下記の要領にしたがって(または、コピーして)必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。※所属支部へも住所変更を行なってください。※楽天KCカード(オフィシャルメンバーズカード)会員の方は、楽天KC株式会社(TEL0570-01-5971)へも届けが必要です。

会員番号		フリガナ	
支 部 名		氏 名	
○新住所			
フリガナ			
〒	※アパート等にお住まいの方は建物の名称・号室まで記入ください。		
TEL.			

黒帯カード申請書

黒帯カード申請／写真の変更
／会員証の再発行(事前にご連絡をお願いいたします)



【黒帯カードへの切替について】黒帯カードへの切替を希望される方は、申請書に必要事項を記入し、カード再発行料2,200円(うち税200円)と現在お持ちの会員証(バーコード入り)を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。同時に写真も同封してください。

【写真変更について】現在お持ちの会員証の写真を変更希望の場合は、変更する写真(パスポートサイズ)・会員番号・氏名を記入したメモ・現在の会員証(バーコード入り)・再発行料2,200円(うち税200円)を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。※書留確認後、1ヶ月程度お待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

会員番号		フリガナ		
支 部 名		氏 名		
昇段年月日	年 月 日	昇段No.	現在の段	段

お知らせに関する
お問い合わせ

国際空手道連盟極真会館「会員管理部」TEL.03-6452-5666

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1 FAX.03-6452-5667

受付時間/平日の午前10時～午後5時30分(土日祝祭日は除く)



国際空手道連盟 総本部 極真会館

館長/松井章奎

師範／福田 勇、八巻建志、杉村多一郎、
ホヴァニシアン・アルトゥール、赤石 誠
指導員／入澤 群、貝沼慶多、コバレンコ・コンスタンティン、
谷川蒼哉、日比野丈二、本間唯志

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1 | TEL.03-5992-9200 FAX.03-5992-9600

大山総裁の遺志を受け継いで、 松井章奎館長が指導。

総本部道場は極真空手の原点であり、同時に直接打撃制カラテの原点とも言えます。全国の支部と道場、全世界に大きく展開する国際空手道連盟の中心です。

総本部道場は、強さと精神的向上を求める道場生の活気あふれた極真空手の殿堂であり、故・大山倍達総裁の遺志を受け継いだ松井章奎館長のもと、一般部(13歳~34歳)、壮年部(35歳以上)、女子部、少年部(満4歳~12歳)があり、随時入門・体験・見学ができます。

極真会館ホームページ <http://www.kyokushinkaikan.org/>

■おもな管轄道場

総本部代官山道場 ◎責任者:赤石 誠
〒150-0033
東京都渋谷区猿楽町3-7 代官山木下ビル 4階
TEL.03-3780-5553

総本部川口道場 ◎責任者:ホヴァニシアン・アルトゥール
〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-2-26
ライオンズマンション3F TEL.048-255-8988

総本部所沢道場 ◎責任者:入澤 群
〒359-1126 埼玉県所沢市西住吉10-13
カワモク所沢ビル3F TEL.042-922-3331

総本部札幌道場
〒062-0921 北海道札幌市豊平区中の島一条1-7-20
Forged bldg 4F TEL.011-816-3939

総本部岩手道場 ◎責任者:松村典雄
〒020-0137 岩手県盛岡市天昌寺町4-58
TEL.019-647-3351



極真会館公式
ホームページ



公式動画配信サイト
KYOKUSHIN ONLINE

Official SNS



YouTubeチャンネル



X (Twitter)



Instagram



Facebook

<p>青森支部</p>  <p>空手の道は人の道</p> <p>支部長 石川博榮</p> <p>〒036-8141 青森県弘前市松原東1丁目3-2 2F TEL.090-3361-6007</p>	<p>北海道函館支部</p>  <p>奮励努力</p> <p>支部長 横山誠</p> <p>〒041-0841 北海道函館市日吉町3-10-3 TEL.0138-54-8199</p>	<p>北海道胆振支部</p>  <p>初志貫徹</p> <p>支部長 澤田乃基</p> <p>〒051-0004 北海道室蘭市母恋北町1-5-11 (学)北斗文化学園内 TEL.090-3393-5808</p>
<p>北海道札幌東支部</p>  <p>創意工夫、道をひらけ!!</p> <p>支部長 塚原典寿</p> <p>〒001-0018 北海道札幌市北区北十八条西4丁目2-17 501号 TEL.080-3497-3595</p>	<p>秋田支部</p>  <p>義理人情</p> <p>支部長 伊藤和摩</p> <p>〒010-0963 秋田県秋田市八橋大沼町3-14 TEL.018-866-1855</p>	<p>山形支部・福島地区・宮城仙台道場</p>  <p>勇気と望みと感謝の心</p> <p>支部長 吉田浩一</p> <p>〒960-0201 福島県福島市飯坂町字十綱下12-4-505 TEL.024-563-3987</p>
<p>郷田道場</p>  <p>集え!!限界へのチャレンジャー 最高顧問 師範 郷田勇三</p> <p>〒114-0014 東京都北区田端5-14-2 富士見マンションB1F TEL.03-3823-8954</p>	<p>東京城西支部</p>  <p>めざせ!! 極真の星を! 総本部長/関東本部 本部長 支部長 山田雅稔</p> <p>〒161-0034 東京都新宿区上落合3-23-17 ユニークル落合1F TEL.03-3363-8430</p>	<p>栃木北支部</p>  <p>質実剛健</p> <p>支部長 荒玉康夫</p> <p>〒324-0057 栃木県大田原市住吉町1-15-23 戸辺ビル2F・3F TEL.0287-23-7090</p>
<p>栃木南支部</p>  <p>一芸は道に通ずる</p> <p>支部長 沼尾陽司</p> <p>〒320-0846 栃木県宇都宮市滝の原1-2-34 滝の原ビル2F TEL.028-637-8997</p>	<p>群馬東支部</p>  <p>不撓不屈</p> <p>支部長 小林節</p> <p>〒371-0804 群馬県前橋市六供町326 TEL.027-289-2158</p>	<p>群馬西支部</p>  <p>生涯修行</p> <p>支部長 細野由人</p> <p>〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須289-1 TEL.0274-24-2858</p>
<p>茨城支部・埼玉北支部</p>  <p>求道万日</p> <p>支部長 鴨志田裕寿</p> <p>〈茨城〉〒305-0821 茨城県つくば市春日3-1-7 エオドールビル3F TEL.029-851-1993 〈埼玉北〉〒347-0033 埼玉県加須市下高柳1635-1 TEL.0280-31-6510</p>	<p>茨城中央支部</p>  <p>闘志全開</p> <p>支部長 安島喬平</p> <p>〈水戸〉〒310-0825 茨城県水戸市吉沢町162-2 TEL.090-6177-81366 〈牛久〉〒300-1203 茨城県牛久市栄町5-57-2 TEL.0292-91-3592</p>	<p>埼玉東支部</p>  <p>心・技・体</p> <p>支部長 毛塚慎一</p> <p>〒339-0073 埼玉県さいたま市岩槻区上野59-2 TEL.090-2247-7150</p>
<p>埼玉西北支部</p>  <p>努力は必ず報われる</p> <p>支部長 村田達也</p> <p>〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山2-11-16 ニューオークションマンション1階 TEL.042-955-8557</p>	<p>埼玉南支部</p>  <p>尊敬・忍耐・感謝</p> <p>支部長 鈴木雄三</p> <p>〒353-0004 埼玉県志木市本町5-18-8 サンロード志木2F TEL.048-487-7444</p>	<p>埼玉中央支部</p>  <p>やればできる!めざせ夢!</p> <p>支部長 ホスロ・ヤグビ</p> <p>〈大宮〉〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区篠町1-322 リファレンス大宮1F・A TEL.048-653-9172 〈宮原〉〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町3-477-1 TEL.048-653-9172</p>
<p>埼玉北越谷支部</p>  <p>極真精神!己を超える!</p> <p>支部長 堀井 浩</p> <p>〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷2-17-5-2F TEL.048-979-8408</p>	<p>千葉北支部</p>  <p>極真の覇者王道を歩め!</p> <p>支部長 柿沼英明</p> <p>〒273-0005 千葉県船橋市本町6-3-20 ベルヴィル2F TEL.047-422-4128</p>	<p>千葉南支部</p>  <p>地域・社会に貢献する道場を目指す</p> <p>支部長 石田伸太</p> <p>〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-20 TEL.0436-24-3212</p>
<p>千葉中央支部</p>  <p>心・技・体</p> <p>支部長 竹石 修</p> <p>〒264-0024 千葉県千葉市若葉区高品町427-6 TEL.043-235-3870</p>	<p>千葉下総支部</p>  <p>心を込めて、真に生きる</p> <p>支部長 塙島 修</p> <p>〒343-0042 埼玉県越谷市千間台東1-2-1 TEL.048-971-4553</p>	<p>千葉東葛支部</p>  <p>空手道の探求、普遍性の追求</p> <p>支部長 福井裕樹</p> <p>〈柏〉〒277-0852 千葉県柏市旭町1-1-16 中崎ビル2F TEL.04-7147-9008 〈松戸〉〒271-0091 千葉県松戸市本町19-2 河内ビル2F TEL.047-369-4655</p>

<p>千葉海浜支部</p>  <p>胆大心小</p> <p>支部長 荒田昇毅</p> <p>〒266-0032 千葉県市川市緑区おゆみ野中央2-13-14 B棟スタジオM&M TEL.090-1999-1802</p>	<p>本部直轄 四谷・飯田橋・東松山・秩父・熊谷道場</p>  <p>極真の道を全うすること</p> <p>支部長 杉村多一郎</p> <p>〈四・谷〉〒160-0004 東京都新宿区四谷3-21 山一ビルB1F TEL.03-3357-8555 〈飯田橋〉〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-5-6号 TEL.03-3221-0753 〈東松山〉〒355-0016 埼玉県東松山市木町 1-11-1 TEL.049-938-25-3127 〈秩・父〉〒365-0005 埼玉県秩父市大字天野原 186-4 TEL.049-25-127 〈熊・谷〉〒366-0037 埼玉県熊谷市筑波2-13 加賀崎ビル1F TEL.049-524-1104</p>	<p>東京城東北千住支部</p>  <p>随所に主たれば、立つ処皆真なり</p> <p>支部長 佐々木敏也</p> <p>〒120-0034 東京都足立区千住3-1 トンブクビル3F TEL.03-5244-0201</p>
<p>東京城東小岩支部・千葉北西支部</p>  <p>心を磨き己を極める</p> <p>支部長 足立慎史</p> <p>〈小岩〉〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-8 第二中正ビル2F TEL.03-3658-9077 〈行徳〉〒272-0133 千葉県市川市行徳駅前2-18-3 リムーブル墨木2F TEL.047-356-0403</p>	<p>東京城東葛西支部</p>  <p>質実剛健</p> <p>支部長 木立裕之</p> <p>〒134-0084 東京都江戸川区東葛西5-1-14 第7片田ビル2F TEL.03-6456-0178</p>	<p>東京城東湾岸支部</p>  <p>人生一度！主役は自分！</p> <p>支部長 鎌田翔平</p> <p>〈築地〉〒104-0043 東京都中央区築2-12-11 2F 〈月島〉〒104-0052 東京都中央区月島4-6-12 スタジオワンズ内 TEL.080-7273-2999</p>
<p>東京城南大崎支部</p>  <p>求道無限</p> <p>支部長 鈴木由一</p> <p>〒140-0002 東京都品川区東品川3-25-1 牧田ビル2F TEL.03-3458-0058</p>	<p>東京城南京浜支部</p>  <p>己に克つ</p> <p>支部長 菅野秀行</p> <p>〒143-0016 東京都大田区大森北1-11-3 サカエビル4F A TEL.03-5471-0603</p>	<p>東京城南池上支部</p>  <p>霸氣を失う事は自分を失う事</p> <p>支部長 御子柴直司</p> <p>〒142-0042 東京都品川区豊町1-6-11 ブレジールB1 TEL.03-4570-0500</p>
<p>東京城南目黒中央支部</p>  <p>我以外皆師也</p> <p>支部長 池田祥規</p> <p>〒153-0065 東京都田舎町中町2-38-27 鈴木第2ビル2F TEL.03-5704-1078</p>	<p>東京城北支部</p>  <p>一所懸命</p> <p>支部長 川本英児</p> <p>〒179-0082 東京都練馬区錦1-34-15 カーサ錦1F TEL.03-5399-3134</p>	<p>東京城西国分寺支部</p>  <p>継続は力なり</p> <p>支部長 江口芳治</p> <p>〒185-0012 東京都国分寺市本町3-11-1 第8千代鶴ビル5F TEL.042-322-8691</p>
<p>東京城西世田谷東支部</p>  <p>一生懸命</p> <p>支部長 田口恭一</p> <p>〒154-0011 東京都世田谷区上馬1-32-10 ハイツ三軒茶屋1F TEL.03-3422-6653</p>	<p>東京城西野方支部</p>  <p>規律・情熱・イズム</p> <p>支部長 根本清志</p> <p>〒165-0027 東京都中野区野方4-25-9 TEL.03-3388-6722</p>	<p>東京城西下北沢・町田支部</p>  <p>感謝</p> <p>支部長 森善十朗</p> <p>〈下北沢〉〒155-0033 東京都世田谷区代田5-11-11 シティ代田B3F 〈町田〉〒194-0021 東京都町田市中町3-6-27-1階B TEL.080-6359-0775</p>
<p>神奈川横浜港南支部</p>  <p>正々堂々</p> <p>支部長 羽田シゲル</p> <p>〒231-0057 神奈川県横浜市中区曙町5-68 永田ビル2F TEL.045-243-1875</p>	<p>神奈川横浜北支部</p>  <p>弱きは即ち此れ強き、強きは克己なり</p> <p>支部長 今西登之彦</p> <p>〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町639-2 TEL.045-435-1800</p>	<p>神奈川横浜東支部</p>  <p>翔ぬける極真の風になれ</p> <p>支部長 青木英憲</p> <p>〒223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉7-16-28 ロイヤルコート日吉307 TEL.045-560-0187</p>
<p>神奈川川崎中央支部</p>  <p>自分に強く</p> <p>支部長 進裕治</p> <p>〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本3-2-18 エムビル1階2号室 TEL.044-822-0021</p>	<p>神奈川相模原支部</p>  <p>志ここに-AMBITIOUS-</p> <p>支部長 戸田直志</p> <p>〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝6-10-3 1F TEL.042-761-1377</p>	<p>神奈川西湘支部</p>  <p>継続は力なり</p> <p>支部長 福田達也</p> <p>〒250-0011 神奈川県小田原市栄町3-10-31 栄町マジック2F TEL.0465-24-9191</p>
<p>神奈川大和支部</p>  <p>一意専心！</p> <p>支部長 竹岡拓哉</p> <p>〈長後〉〒252-0016 神奈川県藤沢市長後668-1 サザン長後ビル203 〈大和〉〒242-0016 神奈川県大和市大和南1-8-1 シリウス内3F マルチスペース TEL.080-9192-3739</p>	<p>神奈川川崎南支部</p>  <p>一芸は道に通ずる</p> <p>支部長 加賀健弘</p> <p>〒212-0022 神奈川県川崎市幸区神明町1-13-1 2F TEL.080-1181-1622</p>	<p>神奈川横浜西北支部</p>  <p>不屈の精神</p> <p>支部長 石崎恋之介</p> <p>〈事務局〉〒161-0034 東京都新宿区上落合3-23-17 ユニーブル落合1階 東京城西支部気付 TEL.080-1064-1015</p>

<p>総本部横須賀道場</p>  <p>和を以て貴しと為す</p> <p>支部長 日比野丈二</p> <p>〒238-0042 神奈川県横須賀市汐入町2-32 HL汐入駅前ビル3F (久里浜) 〒239-0831 神奈川県横須賀市久里浜4-3-6 烏伝第1ビル3F TEL.090-8342-5090</p>	<p>山梨支部</p>  <p>千練万鍛 極真の道</p> <p>支部長 小坂武史</p> <p>〒405-0003 山梨県山梨市下井戸526-1 TEL.0553-33-9761</p>	<p>新潟中央支部</p>  <p>魅する私たちの軌跡</p> <p>支部長 西村淳平</p> <p>〒950-2015 新潟県新潟市西区西小針台1-4-21 TEL.025-368-9500</p>
<p>富山支部</p>  <p>極真精神</p> <p>中部本部 本部長 支部長 浜井良顕</p> <p>〒930-0847 富山県富山市曙町6-40 TEL.070-9007-6678</p>	<p>長野支部</p>  <p>文武両道</p> <p>支部長 平尾敏也</p> <p>〒381-0033 長野県長野市南高田2-3-20 TEL.026-477-2696</p>	<p>石川支部</p>  <p>克己</p> <p>支部長 古城忠</p> <p>〒924-0047 石川県白山市西美沢野町2番地1 TEL.076-274-7107</p>
<p>福井支部</p>  <p>人間の挑戦する意欲に限界はない</p> <p>支部長 宮脇英彰</p> <p>〒915-0834 福井県福井市北千福町109-3 TEL.0778-21-2380</p>	<p>静岡西遠支部・愛知東三河支部</p>  <p>天は自ら助くる者を助く!!</p> <p>支部長 石黒康之</p> <p>〈西・遠〉〒432-8038 静岡県浜松市中央区 西伊場町56-14-2F TEL.053-482-9937 〈東三河〉〒411-8141 愛知県豊橋市草間町字東山143-6 TEL.0533-69-6231</p>	<p>静岡富士支部</p>  <p>継続は力なり</p> <p>支部長 前川克信</p> <p>〒419-0205 静岡県富士市天間954-59 TEL.0545-71-8666</p>
<p>静岡中央支部</p>  <p>千鍛万錬</p> <p>支部長 初川正彦</p> <p>〒420-0915 静岡県静岡市葵区南瀬名町3-14-2F TEL.054-247-1501</p>	<p>愛知東南支部</p>  <p>生きる、しあわせ心豊かに!</p> <p>支部長 堀田裕晴</p> <p>〒475-0917 愛知県半田市清城町3-4-10-101 TEL.0569-26-2539</p>	<p>愛知名古屋支部</p>  <p>継続は力なり</p> <p>支部長 木山仁</p> <p>〒464-0827 愛知県名古屋市千種区田代本通1-28 グレン清友1F TEL.052-762-5119</p>
<p>岐阜支部</p>  <p>意志あるところに道は開ける</p> <p>支部長 伊藤慎</p> <p>〒500-8333 岐阜県岐阜市此花町5-2 フジタビル1 TEL.058-254-1833</p>	<p>京都支部</p>  <p>強く、優しく</p> <p>関西本部 本部長 支部長 川畑幸一</p> <p>〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町5 6 パレット御池2 F TEL.075-801-8155</p>	<p>奈良支部</p>  <p>精銳無比</p> <p>支部長 秦貴典</p> <p>〒634-0835 奈良県橿原市東坊城町123-16 TEL.0744-28-2064</p>
<p>北大阪支部</p>  <p>努力精進</p> <p>支部長 橋爪秀彦</p> <p>〒564-0053 大阪府大阪市住之江区長居東4-1-12 パークサイド南栄ビル2F TEL.06-6695-1768</p>	<p>大阪西支部</p>  <p>信と力なり</p> <p>支部長 岡田祐樹</p> <p>〒552-0001 大阪府大阪市港区波除2-5-5 菊川マンション1F TEL.06-6584-3111</p>	<p>大阪東南支部</p>  <p>やれば出来る! 勇気と挑戦!!</p> <p>支部長 田中隆昌</p> <p>〒599-8234 大阪府堺市土塔町3333-1 TEL.072-239-2520</p>
<p>大阪みなはや支部</p>  <p>拳 禅 一如</p> <p>支部長 田ヶ原正文</p> <p>〒558-0004 大阪府大阪市住吉区長居東4-1-12 パークサイド南栄ビル2F TEL.06-6695-1768</p>	<p>大阪東支部</p>  <p>信頼と感謝</p> <p>支部長 東博昭</p> <p>〈貝塚〉〒597-0081 大阪府貝塚市麻生中814-2 TEL.072-427-9906 〈枚方〉〒573-0131 大阪府枚方市春日野2-13-1 TEL.072-427-9906</p>	<p>大阪南支部</p>  <p>健やかな強さ</p> <p>支部長 徳田忠邦</p> <p>〒593-8311 大阪府堺市西区上441-1 TEL.072-264-8804</p>
<p>大阪布施支部</p>  <p>極真的道を全うすること</p> <p>支部長 田中正信</p> <p>〒577-0843 大阪府東大阪市荒川2-18-12 ビルドジャパン布施1F TEL.090-9160-7606</p>	<p>兵庫西支部</p>  <p>先へ先へ、さらなる先へ</p> <p>支部長 山野博久</p> <p>〒656-0025 兵庫県洲本市本町5-3-4 本町コモード2F TEL.090-8932-2149</p>	<p>和歌山支部</p>  <p>押 忍</p> <p>支部長 北本久也</p> <p>〒640-0112 和歌山县和歌山市西庄1037-53 TEL.090-8570-0458</p>

<p>中国本部</p>  <p>長州男児 極真魂に徹す</p> <p>本部長 河岡博實</p> <p>〒755-0091 山口県宇部市上宇部2532-11 TEL.0836-33-1527</p>	<p>山口支部</p>  <p>志を立ててもって万事の源となす</p> <p>支部長 河岡晶俊</p> <p>〒755-0091 山口県宇部市上宇部2532-11 TEL.0836-33-1527</p>	<p>広島支部</p>  <p>真を極める</p> <p>支部長 小田勝幸</p> <p>〒731-0143 広島県広島市安佐南区長楽寺1-3-7 キシカワビル TEL.082-209-3040</p>	
<p>岡山東支部</p>  <p>大いなる野心</p> <p>支部長 中塚信夫</p> <p>〒700-0964 岡山県岡山市北区中仙道55-124 サンビオーネ中仙道2F TEL.086-242-2008</p>	<p>徳島支部・岡山南支部</p>  <p>心を磨く、技を磨く、自分を磨く</p> <p>支部長 三宅義人</p> <p>徳島) 〒770-0021 徳島県徳島市佐古一番町10-6 レインボータワー6F TEL.088-654-6098 (岡山南) 〒710-0038 岡山県倉敷市新田2901 TEL.090-8978-9021</p>	<p>香川支部・岡山西支部</p>  <p>夢・極真専魂</p> <p>支部長 岩田厚</p> <p>香川) 〒763-0092 香川県丸亀市川西町南1304-1 TEL.0877-28-8880 (岡山西) 〒710-0817 岡山県倉敷市大内1237-1 TEL.086-486-0222</p>	
<p>愛媛中央支部</p>  <p>極真専心・極真貫徹</p> <p>支部長 谷口拓也</p> <p>〒790-0854 愛媛県松山市岩崎町2-12-23 竹村金物店3F TEL.089-977-5720</p>	<p>福岡西支部</p>  <p>世界の和合を志すサムライの育成</p> <p>支部長 阿部清文</p> <p>〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神5-7-5 ベスト天神ビル6F TEL.092-739-6610</p>	<p>福岡東支部</p>  <p>気力、体力、努力</p> <p>支部長 三村政史</p> <p>〒802-0023 福岡県北九州市小倉北区下富野5-1-5 TEL.093-521-7702</p>	
<p>大分支部</p>  <p>初志貫徹 武道空手</p> <p>支部長 三村忠司</p> <p>〒870-0933 大分県大分市花津留1-12-12 TEL.097-556-4511</p>	<p>総本部沖縄道場</p>  <p>他を益す</p> <p>支部長 長崎健一</p> <p>〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東浜81-9 ネクステージゆめなり102号室 TEL.098-955-1493</p>	<p>本部直轄 浅草・三郷・草加道場</p> <p>事務局/浅草 〒111-0033 東京都台東区川戸1-3-6 花川戸ビル1F TEL.03-5828-5992 <三郷>TEL.048-953-3277 <草加>TEL.048-928-0523</p>	
<p>埼玉春日部道場</p> <p>〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚1626 TEL.048-763-8117</p>	<p>新潟南道場</p> <p>〒949-7117 新潟県南魚沼市長森新田20-1 TEL.080-4051-4108</p>	<p>三重東道場</p> <p>〒510-0836 三重県四日市市松本3-12-17 豊ビル4F TEL.059-223-0400</p>	<p>大阪天満橋道場</p> <p>〒536-0016 大阪府大阪市城東区蒲生4-2-3-303 TEL.06-6939-0244</p>
<p>島根松江道場</p> <p>〒690-0885 島根県松江市浜佐田町787-2 TEL.0852-36-6828</p>	<p>高知香美道場</p> <p>〒782-0032 高知県香美市土佐山田町西本町4-1-5 TEL.090-1576-0141</p>	<p>長崎諫早道場</p> <p>〒854-0062 長崎県諫早市小船越町1048-2 諫早市中央体育馆 TEL.0957-46-7900</p>	<p>熊本帶山道場</p> <p>〒862-0924 熊本県熊本市帶山8-5-94 TEL.096-285-3442</p>

国際空手道連盟 極真会館 全国支部 地区本部区分

総本部	関東本部	中部本部	関西本部	中国本部	
館長／松井章奎	本部長／山田雅稔	本部長／浜井良顕	本部長／川畑幸一	本部長／河岡博實	
<ul style="list-style-type: none"> ・総本部道場 ・総本部代官山道場 ・総本部所沢道場 ・総本部川口道場 ・総本部札幌道場 ・総本部岩手道場 ・本部直轄四谷・飯田橋・東松山・秩父・熊谷道場 ・本部直轄浅草・三郷・草加道場 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷田道場 ・東京城西支部 ・栃木北支部 ・栃木南支部 ・群馬東支部 ・群馬西支部 ・茨城支部 ・茨城中央支部 ・埼玉北支部 ・埼玉北西部 ・埼玉東支部 ・埼玉中央支部 ・埼玉南支部 ・埼玉北越谷支部 ・千葉北支部 ・千葉下総支部 ・千葉中央支部 ・千葉南支部 ・千葉北西部 ・千葉海浜支部 ・千葉東葛支部 ・東京城東北千住支部 ・東京城東小岩支部 ・東京城東葛西支部 ・東京城東葛岸支部 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京城西国分寺支部 ・東京城西世田谷東支部 ・東京城西野方支部 ・東京城西下北沢・町田支部 ・東京城北支部 ・東京城南日高中央支部 ・東京城南池上支部 ・東京城南大崎支部 ・東京城南京浜支部 ・埼玉北西部 ・埼玉東支部 ・埼玉中央支部 ・埼玉南支部 ・埼玉北越谷支部 ・千葉相模原支部 ・千葉川崎支部 ・千葉大和支部 ・千葉川崎南支部 ・千葉川横浜西北支部 ・千葉横浜港南支部 ・千葉中央支部 ・千葉東葛西支部 ・千葉海浜支部 ・千葉東葛支部 ・東京城東北千住道場 ・新潟南道場 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山支部 ・長野支部 ・石川支部 ・福井支部 ・静岡富士支部 ・静岡中央支部 ・静岡遠江支部 ・愛知東三河支部 ・愛知東南支部 ・愛知名古屋支部 ・岐阜支部 ・三重東道場 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都支部 ・奈良支部 ・和歌山支部 ・北大阪支部 ・大阪西支部 ・大阪東南支部 ・大阪東支部 ・大阪なんみはや支部 ・大阪南支部 ・大阪布施支部 ・兵庫西支部 ・大阪天満橋道場 ・滋賀草津道場 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口支部 ・広島支部 ・岡山支部 ・岡山東支部 ・岡山南支部 ・島根松江道場
北日本本部			四国本部	佐賀支部・熊本支部・宮崎支部・鹿児島支部	
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道札幌東支部 ・北海道胆振支部 ・北海道函館支部 ・青森支部 ・秋田支部 ・山形支部 ・福島地区 ・宮城仙台道場 			<ul style="list-style-type: none"> ・徳島支部 ・香川支部 ・愛媛中央支部 ・高知香美道場 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡西支部 ・福岡東支部 ・大分支部 ・佐賀支部 ・熊本支部 ・宮崎支部 ・鹿児島支部 ・長崎諫早道場 ・熊本帶山道場 ・総本部沖縄道場 	
				連絡先／総本部事務局 東京都渋谷区猿楽町3-7 TEL.03-6452-5777	

加圧トレーニング®本部は、「第57回全日本空手道選手権大会」を応援しています。



Pressure Training the Father
Yoshiaki Satou

加圧トレーニング® 発明者 佐藤義昭



◎ 国際空手道連盟 総本部 極真会館は、加圧トレーニング®の普及・発展に努めています。

シダックスグループは
「すべては未来の子供たちのために」を使命とし、
より良い社会を次世代に継承するために
フードサービス、車両運行サービス、社会サービスの
3つの基幹事業を通じて社会課題を解決していく総合サービス企業です。



シダックス株式会社

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-12-10 シダックス・カルチャービレッジ TEL.03-5784-8881(代表)
<https://www.shidax.co.jp>

CONGRATULATIONS

THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP



堀建設は
極真カラテを
応援します



株式会社 堀建設



CONGRATULATIONS
THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE
CHAMPIONSHIP



株式会社 シャイン

Shine inc.

代表取締役 **山本将宏**

〒371-0847 群馬県前橋市大友町1丁目7-2 シャインビル

シャインは、太陽光発電システムに蓄電池、オール電化、住宅総合リフォームなど住宅メンテナンス専門の会社です

お客様にとって当たり前の暮らしが送れるようサポートする
住宅の総合メンテナンスパートナーです。

ご質問・ご相談などお気軽にどうぞ



0120-868-933

受付時間 9:00~19:00(定休日 月曜日・火曜日)

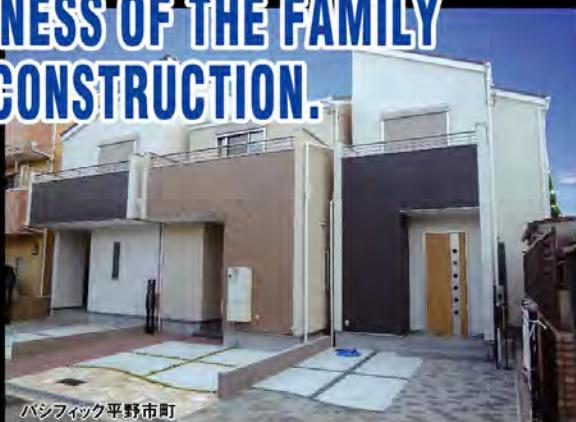


CONGRATULATIONS

THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

住み心地からアフターまで

WE REALIZE THE HAPPINESS OF THE FAMILY
BY THE HOUSING CONSTRUCTION.



大阪府大阪市にある《太平地所株式会社》では
自社で企画・設計した住宅物件の販売、
また自社保有マンションの賃貸業を行っております。
創業以来「住み心地からアフターまで」を合言葉として、
その実現に努めてまいりました。

太平地所の家と共に、私たちも末永く皆さまと
お付き合いできる企業でありたいと願っております。
当社までお気軽にご相談ください。



家族の幸せを家づくりで実現します

家族の和、絆、思い出。いつまでも長く、永く続いていくように。
守り、寄り添う住まいを、私たちはご提案いたします。

住いの実現

太平地所株式会社

<https://taihei-jisyo.co.jp> 宅建免許/大阪府知事(12)第19974号

〈本社〉 〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8丁目6番26号
〈平野営業所〉 〒547-0024 大阪府大阪市平野区瓜破2丁目2番6号

ご質問・ご相談などございましたら、お問い合わせください。

0120-452-814
(営業時間 10:00~19:00)

CONGRATULATIONS

THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

殷德報



和

株式会社 大松

松国宣英

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜2-3-10



CONGRATULATIONS

「第57回全日本空手道選手権大会」

THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP



イディアグループ

〒231-0014

神奈川県横浜市中区常盤町4-45 アートビル4F

TEL.045-212-5581 (代)



**ZONE
GROUP**



伊豆赤沢温泉郷



日本のレジャーをもっと楽しく！

カトープレジャーグループは、ホテル、リゾート、レストラン、エンターテインメント、リバーカルーズなど多岐に亘る事業の開発や運営を行うトータルプロデュースカンパニーです。



TWIN-LINE HOTEL YANBARU OKINAWA JAPAN



TsuruTonTon UDON NOODLE Brasserie 六本木



GLAMDAY STYLE HOTEL SUITE 山ノ瀬



GLAMDAY STYLE HOTEL SUITE 川ノ音

東京本社 107-0062 東京都港区南青山2-27-25 ヒューリック南青山ビル5F TEL:03-6384-5030 FAX:03-6384-5063

大阪本社 543-0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺2-1-9

TEL:06-6771-0111 FAX:06-6772-8128

www.kpg.gr.jp



CONGRATULATIONS

THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

志太塾は国際空手道連盟 極真会館
総本部の選手を応援します。

志
太
塾



代表 志太 勤一

株式会社プロアホールディングスは 国際空手連盟 極真会館を 応援しております！



警備・アウトソーシングなら、プロアホールディングス

【本社】

〒604-8451 京都府京都市中京区西ノ京
御奥岡町 25-16 イリアスビル
アウトソーシング事業部 セキュリティ事業部
tel.075-464-2626 tel.075-464-8777



【烏丸御池支社】

〒604-0835 京都府京都市中京区高宮町 206
御池ビル 7F-A
tel.075-222-2222

【東京支社】

〒105-0004 東京都港区新橋 5-13-10
VORT 新橋 NEX ビル 4F
tel.03-5425-6221

【大阪支社】

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区
東中島 1 丁目 20-19 新大阪ヒカリビル 10F 1006 号
tel.06-6328-7337

《グループ企業》



株式会社ライジング

株式会社ライジングファシリティーズ

人材派遣・警備



株式会社ジャパンファシリティーサービス
警備



ディーエムサービス株式会社

人材派遣・警備



株式会社 ING ダイナミクス
清掃



株式会社デルマーセキュリティ

人材派遣・警備



株式会社 DSC

警備



株式会社オールライフスタイルズ
和菓子「京三条駿河屋」



株式会社イリアス

不動産



株式会社マリアコミュニケーションズ

Web 制作・イベント企画



株式会社ディーパ
輸入車販売



一般社団法人
メディカルケア・ライジング
A型就労サポート「ひまわり」



塩原カントリークラブ リゾート地に佇む本格派ゴルフ場 フラットな林間27ホールズ

＼お得に塩原CCでゴルフプレー／

乗用カートフェアウェイ走行 楽々プレーで大好評！

※コースコンディションにより乗り入れできない場合もございます。



塩原温泉宿泊ゴルフパック 1泊3食付 夕食 朝食 昼食 1Rプレー

塩原カントリークラブでゴルフを楽しんだら、疲れた体を温泉でリフレッシュ！

詳しくはこちら▶



塩原カントリークラブ 〒329-2804
栃木県那須塩原市折戸148
FAX: 0287-35-3503 Mail: info@shiobara-cc.com

お電話での
お問い合わせ



0287-35-2211

LINE公式アカウント

初回友だち登録特典

平日無料プレー券が
当たるチャンス!!

※他のクーポンと併用は出来ません。※お一人様一回限り。

ご登録は
こちら▼



Shiobara Country Club

SAIGEN

サイゲングループは、
スポーツをするすべての人を応援します

CONGRATULATIONS THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

広いピットで安心安全作業 ★ 待機レーン大型5台完備



CONGRATULATIONS THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

大型建機車両の部分修理作業 ★ 廃棄タイヤが生まれ変わる



建機ソリューションしのざき

〒366-0801 埼玉県深谷市上野台1317-1 TEL.048-577-3920 FAX.048-573-7642

<http://www.shinozaki-inc.com/>

国際空手道連盟 極真会館

北大阪支部 - 空拳士 -

極
真
空
手



北大阪支部
ホームページ



北大阪支部
インスタグラム

青少年選手育成プロジェクト 北大阪支部 - 空拳士 -

極真空手にある武道教育を通じ青少年選手育成活動を行い地方選手権大会の選手層を厚くし、子供から一般・壮年・女子、老若男女を問わず全ての空手を志す人たちの指針となる選手の育成を目指し組織貢献へと繋げるプロジェクト

私たちは青少年選手育成プロジェクト 北大阪支部 - 空拳士 - の活動を応援しています

(株)ジョイント (株)キープエンタープライズ (株)エクセレントコア タイガー (株)ココロニア
弁護士法人 関西法律特許事務所 (株)山崎屋 (株)TBSワークス (株)アルファウェイ てんぶら山崎
BAR AUGUSTA BAR AUGUSTA LUX トリミング・ハウス快 (株)ジェートップ グッドエフェクト税理士法
紀州サンライズ 大吉 フレンシデ西宮店 アバマンショップ-石橋店- (株)岡部製版
朝田歯科 多田歯科医院 太田歯科医院 あわた歯科クリニック 池田歯科診療所 しが歯科医院



SUN LUCK

株式会社 サン・ラック

代表取締役 澤井 明彦

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-12 TEL.03-5816-2222(代表)

<http://www.sunluck777.co.jp>

業務内容

パチンコ機・パチスロ機の販売
パーラー経営に関わるトータルサポート業務
パーラー補給システムの販売

パーラーの玉貸機・両替機・計算機等の部品の販売
パーラーの設計デザイン
パーラーの内装・外装デザインの企画設計施工

加 盟

東日本遊技機商業協同組合
日本遊技関連事業協会
余暇環境整備推進協議会
回胴式遊技機商業協同組合



施工の質を追究することで、
より魅力的な「エンターテイメント空間の創造」に貢献します。

エンターテイメント空間の創造
HOSHINO

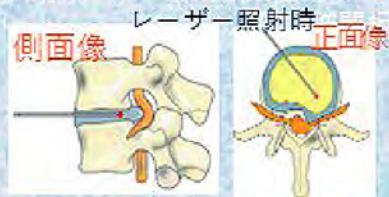
SANKYO パーラー事業部 協力会社
有限会社 星野工務店
東京都知事許可番号 特(4)第114832号

〒110-0015 東京都台東区東上野2-22-8 Tel.03-3834-7777 Fax.03-3834-9999
(株)三共東上野第2ビル2F URL : <http://www.hoshino777.tokyo/>



当院では
腰と首の椎間板ヘルニアや
脊柱管狭窄症のレーザー
手術を実施しています。

経皮的レーザー椎間板減圧術 (PLDD)



症例紹介 61歳男性



頸椎側面画像
手術日2025年5月12日

右の症例はC5/6の変形性頸椎症を伴う
頸椎脊柱管狭窄症
主訴 頸痛 頭痛 顔のしびれ
手術時間5分 術後1時間にて帰宅
リハビリは不要であった



医療法人 愛心会

伊東くりにっく

大阪市福島区福島1-1-51 ロスウォーク4F
(大阪中之島クリニックモール内)

TEL 06-6453-4125

まずは気軽にお電話を



WEBは[こちら](#)



Nakaoka

中岡建設グループ

代表 中岡 大治

- 建設**
- 不動産仲介**
- 不動産買取**
- マンション・ビル管理**
- ホテル・旅館管理**
- 警備**

株式会社 中岡建設

大阪市天王寺区烏ヶ辻1丁目1番6号 第2中岡ビル

総合建設業

太平洋ハウジング 株式会社

大阪市阿倍野区天王寺町北2丁目1番11号 中岡プレステルビル

売買賃貸仲介業

株式会社 リアルインベスト

大阪市中央区日本橋1丁目25番23号 アミスタユウ

不動産賃貸業

大成土地建物 株式会社

大阪市天王寺区茶臼山町1番11号 イデール天王寺

マンション・ビルメンテナンス業

イデールリゾート 株式会社

大阪市阿倍野区天王寺町北2丁目1番11号 中岡プレステルビル

ホテル・旅館宿泊業

株式会社 S.S.Cサービス

大阪市阿倍野区天王寺町北2丁目1番11号 中岡プレステルビル

交通 保安警備業

エクステリアダイアモンドムーンは
極真会館を応援しています。

継続は力なり

エクステリア ダイヤモンドムーン
Ex DIAMOND MOON

代表 服部 勝由

Katsuyoshi Hattori

◇本社◇

〒425-0066 静岡県焼津市大島272-3

Mobile.090-2256-1830

Fax.054-623-0775

◇高柳倉庫◇

〒426-0041

静岡県藤枝市高柳 1989-1



◇取扱工事内容◇

カーポート工事/テラス工事/フェンス工事/物置工事/外構工事 etc.



<http://www.ex-diamondmoon.com/>

株式会社極真会館メディカルマネジメントは
極真会館を応援しています。



株式会社
極真会館メディカルマネジメント

〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町639-2

TEL.045-439-5200/FAX.045-432-5253

Mail : info@kyokushin-mm.jp

福祉施設(保育園・介護施設)・スポーツジム・加圧トレーニング・空手道場運営

シード建設株式会社は
極真会館を応援しています。



シード建設株式会社

SEED CONSTRUCTION CO.,LTD

一級建築士事務所 / 特定建設業 / 宅地建物取引業

一般建築

注文住宅

店舗建築

修繕・改修

大阪本社 ≫ 大阪市中央区北久宝寺町4丁目2番10号 東明ビル4階
TEL.06-6243-2210 / FAX.06-6243-2208

東京オフィス ≫ 東京都台東区浅草6丁目13番12-101号
TEL.03-5808-7870 / FAX.03-5808-7871



施工管理募集中！あなたの力を待っています！
詳細は当社ホームページの採用情報をご覧ください。

南栄商事株式会社は極真会館を
応援しています。

南栄商事
株式会社

貸マンション

貸ビル

不動産売買

不動産管理

不動産全般

〒558-0004 大阪府大阪市住吉区長居東4-1-12
パークサイド南栄ビル TEL.06-6699-2881



株式会社 ミエラセン

確かな品質、堅実なモノづくり

確かな品質と堅実な性能が、
私たちのモノづくりのモットーです。
信頼を築くパートナーとして、
お客様の課題に向き合い続けます。

株式会社 ミエラセン

<http://www.mierasen.jp>

代表取締役 岩瀬 雅洋

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6 丁目 8 番 26 号

TEL 06-6772-0666 FAX 06-6772-0668



お客様の「感動」を導く
上質な接客をめざして

ランドマークグループは極真会館を席捲します。

ランドマークグループ

代表取締役 高田 慶濟

〒671-1241 兵庫県姫路市網干区興浜 1479-1
TEL.079-287-6702 FAX.079-287-6703



絆と感性の紫
ランドマークたつの



信頼と誠実の青
ランドマーク網干



躍動と情熱の赤
ランドマーク広島



CONGRATULATIONS THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

頭皮に一撃!

モンゴ流 シャンプーEX

株式会社 アルファウェイ

大阪市淀川区宮原3丁目5番24号 新大阪第一生命ビル

Tel.06-4807-2178 Fax.06-4807-2177

CONGRATULATIONS THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

藏本整骨院

院長 藏本 昇

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-20-19

Tel.&Fax.06-4399-0505

CONGRATULATIONS THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP



株式会社

TOP Rank

代表取締役 鈴木 友也

〒264-0027 千葉県千葉市若葉区若松台1-16-1

Tel.043-232-4917 Fax.043-308-3033

CONGRATULATIONS THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

極真会館

東京城西支部

前島 康夫

CONGRATULATIONS THE 57TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

空調設備・消防設備・建物清掃

有限会社

メトロビル管理

代表取締役 廣仲和幸

〒176-0003 東京都練馬区羽沢3丁目29番8号

Tel.03-3992-3313 Fax.03-3992-3314



THE 57TH
ALL JAPAN OPEN KARATE
CHAMPIONSHIP